

令和2年7月豪雨復旧・復興本部会議（第18回）

日時：令和8年3月24日（火）10：00～

場所：防災センター201 会議室

次 第

1 開 会

2 本部長（知事）挨拶

3 議 事

- ・ 第17回提案の取組み・アイデア等の実装状況について
- ・ 創造的復興の加速化について

4 閉 会

令和2年7月豪雨復旧・復興本部会議（第18回）

- 第17回提案の取組み・アイデア等の実装状況について
- 創造的復興の加速化について

令和8年（2026年）3月24日
熊本県

復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

第17回復旧・復興本部会議 [資料2] 1ページ

全国トップクラスの防災・減災モデル地域化

方向性①：いつ起こるか分からない災害への備えは待ったなし【避難所環境改善、防災DX】

避難所開設訓練
(全流域市町村等で実施)

避難所環境改善
(全流域市町村等で48h以内にベッド・プライバシーを確保)

衛星ブロードバンドインターネットサービス
(全流域市町村等+振興局に設置 ※0箇所→14箇所)

地域防災マネージャー等
(全流域市町村等で採用)

防災士登録者数
(全流域市町村等で防災士数を倍増)
(若年者への防災講座の重点化)

防災士アドバイザー
(全流域市町村等で登録/活用)

全国トップクラスの防災・減災モデル地域化
「防災・減災の先進地」

方向性②：記憶の風化/職員の入替りによる「ノウハウ」の消失リスクへの対応【専門人材、官民連携】

【令和7年度の取組み（実績）】

- ・国の経済対策を活用し、避難所の環境改善に向けた資機材（簡易ベッド、パーティション等）を整備
- ・避難所環境改善に関するセミナーを開催（球磨川流域管内で3回）
- ・防災士を養成するための「火の国ぼうさい塾」を開催（球磨川流域の修了者66名）



避難所環境改善
(テント式パーティション)



避難所環境改善
(セミナーの様子)



火の国ぼうさい塾

- 実装化：一部済
 - ・避難所生活環境改善緊急整備事業
119,800千円の一部（R6年度2補）
 - ・地域防災力強化・防災ネットワーク強化事業
2,410千円の一部（R8当初）
 - ・衛星ブロードバンドインターネットサービス整備事業
4,519千円（R8当初）

【課題や社会の変化等を踏まえた今後の方向性】

- いつ起こるか分からない災害に備えるため、避難所の環境改善や防災DXの取組みを推進する。
- 記憶の風化や職員の入替りによるノウハウ消失のリスクに対応するため、専門人材の育成や官民連携による災害対応力の強化を推進する。

【球磨川流域のめざす姿】

- 避難所の環境改善や防災DXの取組みが着実に進み、災害が発生しても被害を最小限に抑えられる地域が実現している。
- 防災・減災に関する専門人材など多様な人材が地域に根付き、官民が一体となって平素から防災・減災に取り組むことで、災害に強く、持続的に発展する地域社会が実現している。

【概要】

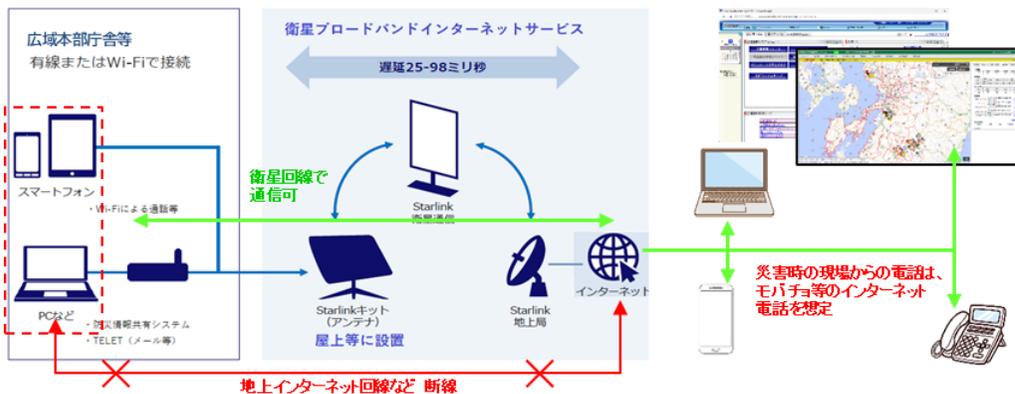
避難所の環境改善や専門人材の育成、官民連携による防災の取組みを継続的に実施し、地域の防災力向上を図る。また、球磨川流域において、災害時における地理的脆弱性への対応を図るため、衛星ブロードバンドインターネットサービスの導入に係る検証を行う。

【令和8年度以降の取組み】

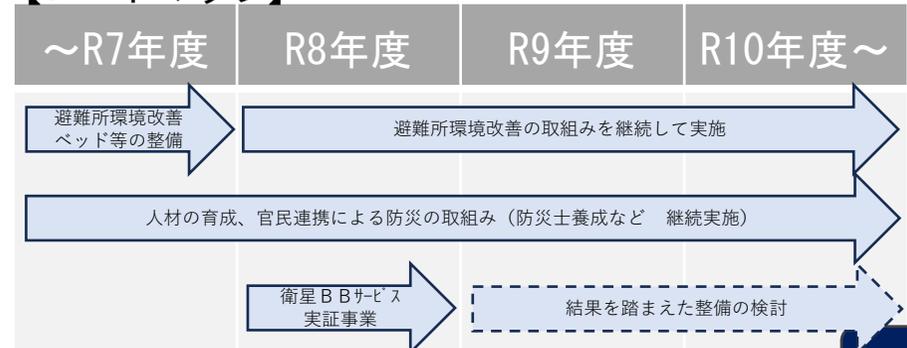
避難所の環境改善や専門人材の育成など防災・減災に繋がる取組みを継続的に推進しつつ、衛星ブロードバンドインターネットサービスの導入については、令和8年度に球磨地域振興局及び管内2市町村において導入に係る実証を行う。

【事業名・予算】

- ・ 避難所生活環境改善緊急整備事業 110,000千円の一部（R7年度2補）
- ・ 地域防災力強化・防災ネットワーク強化事業 2,410千円の一部（R8当初）
- ・ 衛星ブロードバンドインターネットサービス整備事業 4,519千円（R8当初）



【ロードマップ】



復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

第17回復旧・復興本部会議 [資料2] 7ページ

○それぞれの市町村が、個性を活かし持続的な行財政運営が可能となるような支援を球磨地域振興局と連携して実施

- ①人吉・球磨市町村の行財政運営上の課題解決に向けて、広域的かつモデル的な取組みを提案・支援
- ②人吉・球磨市町村によるふるさと納税の活用最大化に向けた共通返礼品の開発等の広域的な取組みを支援

【令和7年度の取組み（実績）】

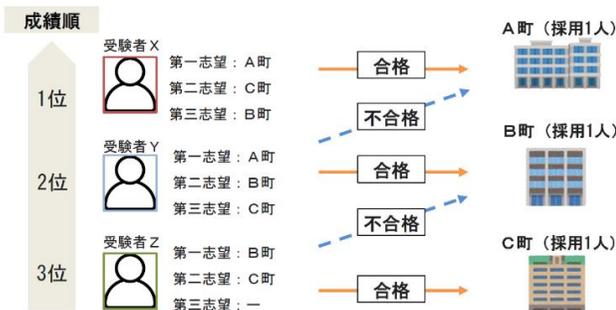
- ・市町村職員採用試験の共同採用方式導入について、R7.11からR8.1にかけて、人吉・球磨地域の各首長と意見交換を行ったほか、R8.1に人吉・球磨地域市町村の総務担当課長会議において共同採用方式の検討を提案
- ・地域の課題や地域資源等のデータや将来見込を整理した「地域の未来予測」の未作成町村に対し、広域作成事例等についての情報提供及び今後の作成に向けて助言
- ・ふるさと納税制度の今後の積極的な活用に向けて、市町村担当者連携会議（球磨地域振興局主催）における意見交換や、市町村の個別ヒアリングを実施し、県のノウハウ等を活かした助言等を実施

□ 庁内連携先：球磨地域振興局

□ 実装化：予定

- ・共同採用方式の導入に向けた検討
 - ・広域的な「地域の未来予測」の支援
 - ・ふるさと納税の体験型返礼品等の開発等の支援（共通返礼品の情報提供）
- 令和8年度～

共同採用試験の実施イメージ



（取組例）

共同採用試験の中で、例えば受験者が第一志望の市町村に不合格であったとしても、第二志望、第三志望の市町村が職員として採用するもの

【課題や社会の変化等を踏まえた今後の方向性】

- 将来的な県内の市町村の職員確保に向けた展開も視野に、人吉・球磨地域をモデル地域として、共同採用方式の導入に関する具体的な協議を進め、本地域に適する実施方法について市町村と共に模索していく。
- 地域の未来予測については、市町村の意向を踏まえた上で、先行事例を参考に、「地域の未来予測」の広域的な作成に向けた支援を行う。
- ふるさと納税については、国における制度改正等の情報を適宜提供し、適正に対応いただくとともに、新たな体験型返礼品の開発など、ふるさと納税を活用した更なる財源確保に向け、各市町村の意向を踏まえた支援・助言を行う。

球磨川流域のめざす姿

○地域社会を取り巻く環境変化に対応するため、それぞれの市町村が、個性を活かした持続的な行財政体制を目指す

【概要】

それぞれの市町村が個性を活かした持続的な行財政運営が可能となるよう、運営上の課題解決に向けた支援を、球磨地域振興局と連携して引き続き実施する。

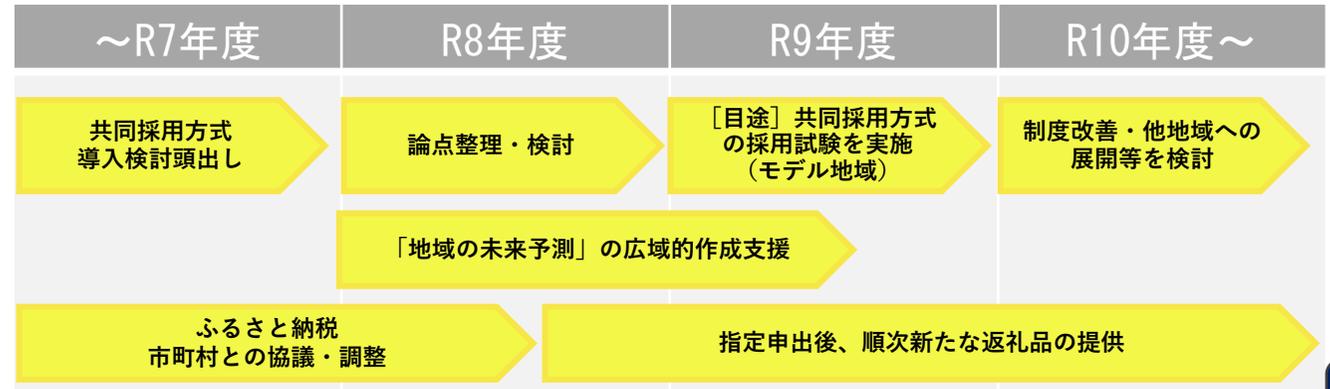
【令和8年度以降の取組み】

- ・ 令和9年度からのモデル地域（人吉・球磨地域）における共同採用方式導入に向け、実施方法等について関係市町村と具体的な協議を進める。
- ・ 地域の課題等を明らかにするために必要な、地域資源等のデータ・将来見込（地域の未来予測）について、市町村間の連携体制の構築を図り、人吉・球磨地域における広域的な作成・運用を目指す。
- ・ ふるさと納税について、令和8年度以降の早期に新たな返礼品の提供が可能となるよう、市町村間の共通返礼品の開発や観光・体験型の返礼品の創設等を支援する。

【事業名・予算】

市町村行政サービス維持向上
支援事業 8,185千円の一部

【ロードマップ】



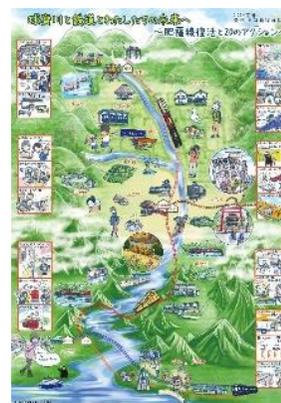
復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

第17回復旧・復興本部会議 [資料2] 8ページ

- くま川鉄道の令和8年度上半期全線運行開始を目指した取組み
- 「JR肥薩線復興アクションプラン」に基づき、「球磨川リバーミュージアム」と連携して、観光利用・日常利用の双方を促進
- 相良村の光回線の設備更新により、オンライン診療や遠隔授業の実施、移住定住の促進、企業誘致、災害時の早期復旧等を後押し

【令和7年度の取組み（実績）】

- ・くま川鉄道については、令和8年度上半期の全線運行再開を目指し、球磨川第四桥梁の架設工事等の復旧工事に係る費用を補助。（全体事業費の1/4）
- ・「JR肥薩線復興アクションプラン」に掲げられた具体施策の進捗管理を行う「JR肥薩線復興アクションプラン推進会議」を設立。
- ・相良村が、民間通信事業者と連携して、村全域において光回線の整備事業を実施。県は補助事業を創設し、村を支援。



〔球磨川第四桥梁〕

- 庁内連携先 : 球磨川流域復興局
- 実装化 : 済 (令和7年度予算)
 - ・くま川鉄道災害復旧支援事業 150,000千円
 - ・JR肥薩線復興アクションプラン推進事業 1,439千円
 - ・相良村情報通信基盤整備支援事業 31,500千円

【課題や社会の変化等を踏まえた今後の方向性】

- くま川鉄道の全線運行再開を起爆剤に、市町村と連携して誘客促進と地域の賑わい創出に資する取組みを推進。JR肥薩線については、引き続き「JR肥薩線復興アクションプラン」の具体的施策を推進し、復旧後の利活用促進を図る。
- 光回線の速度向上により、オンライン診療や遠隔授業の実施、移住定住の促進、企業誘致等の後押しとなることが期待されるとともに、民設民営化に伴い、災害時の早期復旧が見込まれる。

球磨川流域のめざす姿

- くま川鉄道においては、上下分離方式の導入による安全・安心な運行の維持を実現するとともに、全線運行再開を契機とした利用促進及び増収策や利用者の利便性確保に繋がる取り組みを推進し、持続可能な運行を実現。
- JR肥薩線においては、「清流球磨川」と「百年レイル肥薩線」という二つの「線」を活かし、観光を軸とした日本一の地方創生モデルを実現。

【概要】

- ・くま川鉄道の全線での運行再開を起爆剤として、誘客促進に資する取り組みを推進し、地域活力の向上と鉄道利用の促進を図る。
- ・JR肥薩線（八代～人吉間）の復旧工事を支援するとともに、鉄道での復旧に向けて、地元市町村・JR九州等の関係機関と連携し、「JR肥薩線復興アクションプラン」に位置付けた取り組みを推進。

【令和8年度以降の取り組み】

- ・くま川鉄道(株)や関係市町村と連携して、全線運行再開に伴う式典及び賑わい創出・誘客事業に係る取り組みを実施。
- ・JR肥薩線（八代～人吉間）の災害復旧事業に対する補助事業の実施。
- ・「JR肥薩線復興アクションプラン」に基づき、観光列車の導入に向けた検討や、サポーターズクラブの運営等の取り組みを、沿線市町村・JR九州等と連携して推進。

【事業名・予算】

地方公共交通鉄道対策事業 （くま川鉄道全線運行再開に向けた支援）	22,500千円（2月補正予算）
JR肥薩線復興アクションプラン推進事業	44,995千円
JR肥薩線災害復旧支援事業	83,334千円

【ロードマップ】



球磨川流域のめざす姿

- 設備更新に伴う光回線の速度向上により、デジタル技術を活用したオンライン診療や遠隔授業の実施、移住定住、企業誘致を後押しし、相良村の振興をさらに推進。
- 公設公営であったインターネット光回線を民設民営化することで、災害時の早期復旧が可能となり、災害に強い情報通信基盤を確立。

【概要】

- ・相良村において、インターネット光回線の速度向上と民設民営化に向け、民間通信事業者と連携して事業を実施。
- ・県は補助事業を創設し、村を支援。

【令和8年度以降の取組み】

(四浦地区) 令和7年度末に整備が完了し、令和8年4月からサービス開始予定。

(深水・川辺地区) 令和7年度から引き続き整備工事を実施。令和8年度末に整備が完了し、令和9年4月からサービス開始予定。

【事業名・予算】

相良村情報通信基盤整備支援事業 31,500千円 (R7年度繰越予算)



【ロードマップ】



復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

第17回復旧・復興本部会議 [資料2] 9ページ

○「球磨川リバーミュージアム」構想推進による流域のブランド化

“川とともに生きる”流域の情景を「球磨川リバーミュージアム」とし、様々な人が集まり、新しい発見・新しい価値が生まれる場所を創出する。そのために、“川の恵みを活かした取組み”と“災害を忘れない取組み”を有機的に連携させ、一体的に活用・発信する仕組みを作る。

【令和7年度の取組み（実績）】

○球磨川流域関係者との意見交換

- ・市町村担当者との意見交換会（11/28）
- ・観光協会等の民間団体との意見交換会（1/23）

○球磨川リバーミュージアムキックオフフォーラムの開催（3/1）

- ・各市町村長、国及び民間団体の機運醸成
- ・対外的なPR

○球磨川リバーミュージアム構想の策定

- ・構想の基本的考え方・方向性等について整理

□ 庁内連携先：観光文化部、土木部、企画振興部内関係課

□ 実装化：済（令和7年度予算）
「球磨川リバーミュージアム構想」推進事業
6,000千円



球磨川リバーミュージアムキックオフフォーラム（R8.3.1開催）

【課題や社会の変化等を踏まえた今後の方向性】

- 策定した「球磨川リバーミュージアム構想」により、地域と連携・共働して、災害の教訓や防災と観光等を組み合わせた一体的な発信に取り組む。
- 新たな流水型ダム事業を見据え、事業に伴う経済効果の広域的・効果的な波及に向けて取り組む。

球磨川流域のめざす姿

- 「球磨川リバーミュージアム」を旗印に、球磨川流域の官・民が一体となって、球磨川を核とした流域の取組み等のブランド化を進め、地域資源（災害を忘れない取組み・川の恵みを活かした取組み）の価値と発信力を向上させることで、人が“残り・集う”豪雨復興の先進モデルとなる地域をめざす。

【概要】

- ・ 令和2年7月豪雨からの5年間で、インフラ等の復旧事業は着実に進捗。今後は、地域経済の再生や豪雨災害の記憶の伝承等に向けた取組みを加速化させる必要がある。
- ・ 球磨川流域を丸ごと博物館に見立てて発信する「球磨川リバーミュージアム構想」の推進により、国、県、流域市町村及び民間事業者の官民連携を強化し、交流人口の増加や防災力の強化等を図る。

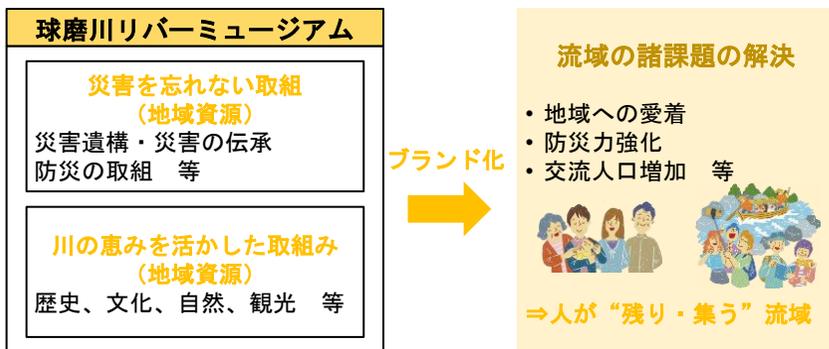
【令和8年度以降の取組み】

- ・ ホームページ・デジタルマップ制作
- ・ 地域資源への共通サインのモデル設置
- ・ ロゴマーク制作 等

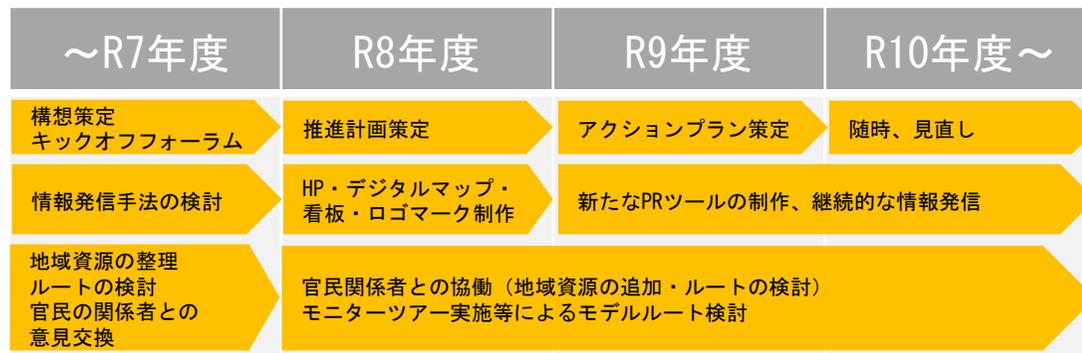
【事業名・予算】

「球磨川リバーミュージアム構想」推進事業 9,600千円

【事業イメージ】



【ロードマップ】



球磨川流域のめざす姿

- 流水型ダム事業に伴う効果を五木村及び相良村、さらには球磨川流域全体に、効果的かつ広域的に波及させるための国、県、市町村等が連携した仕組み・体制を構築し、流域のあらゆる関係者が連携し取組みを推進することで、五木村及び相良村の振興、持続可能な球磨川流域の形成実現をめざす。

【概要】

- ・「緑の流域治水」の中核となる川辺川の流水型ダム事業については、国土交通省が令和9年度の着工を予定しており、持続可能な球磨川流域の形成に向けては、このダム事業の様々な効果を最大限地域へ波及させることが不可欠。
- ・ダム事業の効果を十分に享受する仕組み・体制のもと、球磨川リバーミュージアム構想やJR肥薩線アクションプラン、流域市町村の計画等とも連携しつつ、地元企業の受注機会拡大、人材育成、観光振興、学術連携など、各方面に相乗効果を創出するような、地域が一体となった取組みを推進する。

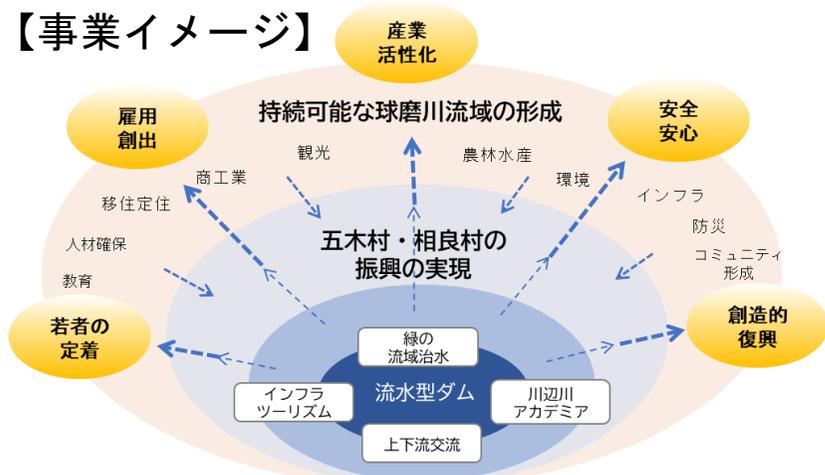
【令和8年度以降の取組み】

連携体制の構築・方針の策定後、
連携した取組みを推進

【事業名・予算】

球磨川流域地域連携推進事業 30,000千円

【事業イメージ】



【ロードマップ】



復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

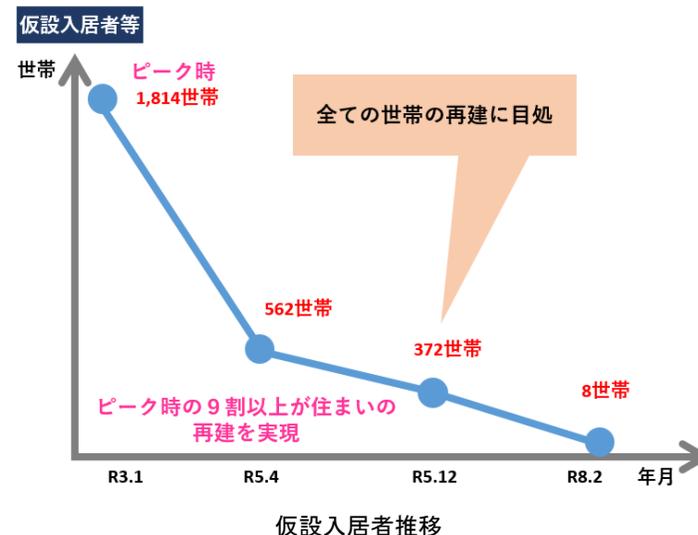
第17回復旧・復興本部会議 [資料2] 5ページ

- 新たな災害に備えた体制の強化
- 地域の新しいコミュニティ構築の推進
- 「医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージ」事業を活用した医療機関開設への支援

【令和7年度の取組み（実績）】

- ・ 国の経済対策を活用し、避難所の生活環境改善に向けた資機材（簡易ベッド、パーティション、炊き出しセット）を整備。
- ・ 地域の通いの場の活動を支援する専門職等への研修を実施。また、あさぎり町認知症啓発講演会に、水上村在住のくまもとオレンジ大使の認知症本人が登壇し、診断前から現在までの心情などを講演。
- ・ 八代市坂本町の診療所開設に当たり、設備整備、地域への定着支援に係る経費を補助。球磨村の医療提供体制確保に向けた支援を実施。
- ・ 応急仮設住宅等の入居者は、ピーク時（1,814世帯）の約99%が再建を実現。

- 庁内連携先：知事公室、環境生活部
- 実装化：済
 - ・ 避難所生活環境改善緊急整備事業
119,800千円の一部（R6年度2補）
 - ・ 診療所の承継・開業支援事業
21,143千円（R7.9補）



【課題や社会の変化等を踏まえた今後の方向性】

- 引き続き、国の経済対策を活用した避難所等の環境改善に向けた資機材等の更なる充実や、地域の医療提供体制・コミュニティの構築を図る。

球磨川流域のめざす姿

○対象市町村にお住まいの方が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境が確保されている。

【概要】

- ・最後のお一人が再建を果たされるまで、お一人お一人に寄り添った伴走型支援を継続。
- ・生活に必要な不可欠な医療提供体制の維持・確保や、地域のコミュニティ形成を推進。

【令和8年度以降の取組み】

- ・最後のお一人が住まいの再建を果たされるまで、「すまいの再建5つの支援策」や、地域支え合いセンター等による見守り・支援など寄り添った支援を継続する。
- ・住まいの再建後も訪問等を行い、切れ目なく必要な支援につなげるとともに、住民主体のコミュニティ形成を支援する。
- ・球磨村や八代市坂本町など被災地の方々が安心して医療・福祉サービスを受けられる体制につなげるため、診療所開所後も引き続き、関係市町村と連携し、必要な支援を継続する。

【事業名・予算】

- ・住まいの再建支援事業 41,600千円
- ・診療所の承継・開業支援事業 25,430千円

【ロードマップ】



仮設住宅を住まいの再建先として改修



八代市立坂本診療所（R8.3開所）

復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

第17回復旧・復興本部会議 [資料2] 10ページ

- 球磨川流域には自然公園が4つ（国定1、県立3）指定されている。
- 九州中央山地国定公園内に位置し、日本遺産「人吉球磨」（市房山中宮神宮など）と連携している市房山登山道について、令和7年度から重点的に補修を進めていく。

【令和7年度の取組み（実績）】

- ・市房山登山道の五合目から七合目にかけて、プラスチック階段撤去・再設置15基、木製階段撤去9基等を実施。

履行期間 令和8年1月5日から令和8年3月13日まで

- 実装化：済（令和7年度予算）
自然公園等施設リニューアル事業
1,200千円の一部



【課題や社会の変化等を踏まえた今後の方向性】

- ロングトレイルを楽しむインバウンド等をターゲットに、日本遺産「人吉球磨」と連携し、九州中央山地国定公園や九州自然歩道への誘客を促進するため、市房山登山道の整備を引き続き進める。

自然公園等を活用した誘客への取組み

球磨川流域のめざす姿

自然豊かな球磨川流域に、自然を満喫したい人々を呼び込む。

【概要】 日本遺産「人吉球磨」と連携している市房山登山道の補修を今後も重点的に進めていく。

【令和8年度以降の取組み】 市房山登山道整備

【事業名・予算】 自然公園等施設リニューアル事業 予算2,000千円の一部

【ロードマップ】

～R7年度	R8年度	R9年度～
五～七合目にかけて整備	四～七合目区間の階段工、危険表示板等の設置	四～八合目区間の階段工、危険表示板等の設置

復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

第17回復旧・復興本部会議 [資料2] 6ページ

○被災地域における持続可能な地域経済の確立

- ・被災施設等の復旧を支援する「なりわい再建支援補助金」の活用を希望される事業者全ての再建が完了するまで、本補助金を継続
- ・被災事業者の売上回復に向け、販路拡大や生産性向上の取組みを支援する「くまもと型小規模事業者経営発展支援補助金」や、個々の経営課題に応じた専門家の派遣により、経営の改善や向上を後押し

【令和7年度の取組み（実績）】

- ・「なりわい再建支援補助金」による被災事業者の施設・設備の復旧を支援
 - ⇒ 令和2年度からの累計 補助金の交付決定 512件
 - うち復旧完了 504件
 - 復旧中 8件（令和8年3月末見込み）
- ・「くまもと型小規模事業者経営発展支援補助金」による販路拡大等を支援
 - ⇒ 令和7年度 補助金の交付 11件（うち流域市町村の事業者 8件）

- 実装化：済（R7年度2月補正+R8当初予算）
なりわい再建支援事業
1,846,951千円の一部



「一富士旅館」（人吉市）の復旧状況

【課題や社会の変化等を踏まえた今後の方向性】

- 土地区画整理事業等の公共事業の影響により「なりわい再建支援補助金」を未だ申請できない事業者（6件）が存在するため、事業の再建が完了するまで本補助金を継続する。
- 長引く物価高騰や深刻な人手不足、最低賃金の大幅引き上げ等の社会環境の変化が、被災事業者をはじめとする県内事業者全体の経営に影響を与えているため、既存の専門家派遣事業を継続するほか、各種補助制度等により、生産性向上等に取り組む事業者を強力に支援する。

復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

第17回復旧・復興本部会議 [資料2] 11ページ

- 地域人材確保支援員の配置（熊本県地域無料就労相談窓口運営事業）
- 女性向け地域別合同企業説明会、女性採用向上セミナー等（くまもと県内就労応援事業）

【令和7年度の取組み（実績）】

- ・地域人材確保支援員を配置し、地域の人手不足企業と相談者とのマッチング支援を実施。地域企業の発展、人材確保、人材の定着等に寄与している。
- ・地元で働きたい女性と女性を積極的に雇用したい地元企業のマッチングのため『お悩み解消Café』を広域本部単位で開催。
（参加企業）12社（来場者）15名 ※県南地域の実績
- ・女性活躍推進に取り組む企業の事例や助成金の活用法、職場環境改善を詳しく解説する『女性就労促進セミナー』を実施。
（参加者数）26名（アーカイブ視聴回数）171回 ※県全体の実績

- 庁内連携先：環境生活部（女性の就労）
- 実装化：済（令和7年度予算）
 - ・熊本県地域無料就労相談窓口運営事業
59,976千円の一部
 - ・くまもと県内就労応援事業
23,550千円の一部



お悩み解消Café@県南の様子

【課題や社会の変化等を踏まえた今後の方向性】

- 少子化に基づく慢性的な人手不足という課題が残る中、限られた人材の地域での就職を促すため、若者や求職者が地域の企業を知る機会、出会う機会を創出する。
- 企業セミナー等により、地域に就職した人材が活躍できる環境整備を推進し、人材の定着、地域外流出を抑制する。

球磨川流域のめざす姿

○地域で育った若者が地域の企業に就職し、進学などで一度地域を離れたとしても将来戻って来られる環境を創造する。

【概要】

人吉・球磨地域復興支援人材確保ワンストップ就労相談窓口の活動や「くまもと県内就労応援事業」等の実施により、地域での就職・定着を促進する。

【令和8年度以降の取組み】

- ・ 中学・高校等での出前講座を通じて、中高生やその保護者等に地元就職のメリットや地元企業の魅力を伝える。
- ・ 地域の企業の人材確保を支援する地域人材確保支援員の配置。
- ・ 女性の就労機会の創出及び女性が働きやすい環境づくりを後押しする「くまもと県内就労応援事業」を実施。

【事業名・予算】

- ・ 熊本県地域無料就労相談窓口運営事業 57,205千円の一部
- ・ くまもと県内就労応援事業 18,840千円の一部

【ロードマップ】



相談窓口（参考）



合同企業説明会（参考）

～R7年度	R8年度	R9年度	R10年度～
地域無料就労窓口運営事業			
	・ 出前講座、企業と求職者のマッチング支援等 くまもと県内就労応援事業		
	・ 合同企業説明会、セミナー等の実施、ブライト企業のPR等		

球磨川流域のめざす姿

○人吉球磨地域の関係機関が一体となり、今後の人吉球磨地域の維持・発展に向け地域を支える人材の確保・育成・定着を支援していく。

【概要】

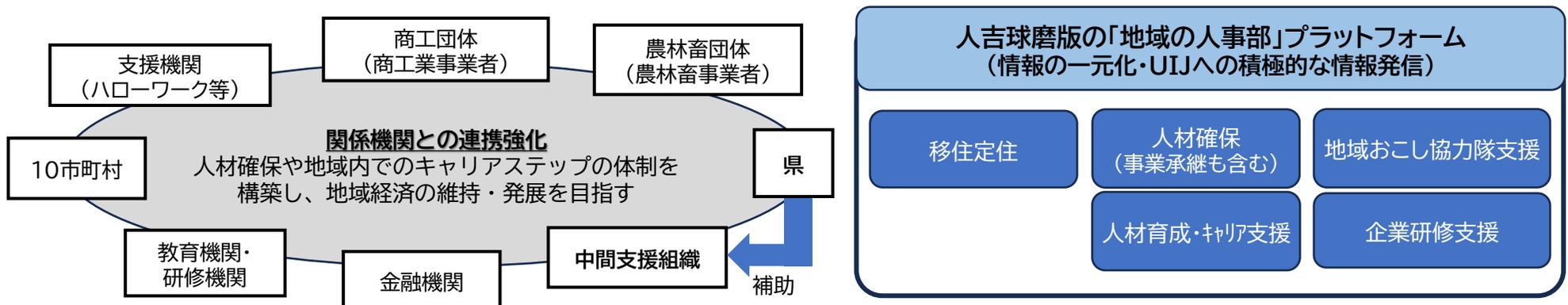
人吉球磨地域の中間支援組織を中核として関係団体の連携を図り、将来の経営を担う人材の確保（副業を含む）や地域内でのキャリアステップの体制を構築し、地域経済の維持・発展を目指す。

【令和8年度以降の取組み】

- ・ 関係機関と連携し、人材確保及び地域内でのキャリアステップの体制等を構築する中間支援組織への補助
- ・ 人吉球磨地域の情報の一元化、UIJターンへの積極的な情報発信を行うプラットフォーム運営

【事業名・予算】

「地域の人事部」構築事業 9,000千円



復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

第17回復旧・復興本部会議 [資料2] 11ページ

<県南地域への企業誘致の促進>

- 企業の人材確保に向けた環境整備に要する経費の助成
- 高校生を対象とした職業体験研修や見学ツアーの実施
- 東京ゲームショウ等における県南地域の魅力発信の支援及びサテライトオフィス等を活用した企業研修の実施

<「食のみやこ熊本県」球磨焼酎の消費拡大>

- 球磨焼酎等の更なる販路拡大
- 球磨焼酎のトップブランド化推進プロモーションの実施や蔵元のコンペ出展等の支援及び有用微生物を活用した新商品の開発支援

【令和7年度の取組み（実績）】

<県南地域への企業誘致の促進>

- ・人吉・球磨地域の高校生を対象とした職業体験研修を実施（時期：R7.7下旬、R7.8月上旬 参加企業12社、参加生徒15名）
- ・球磨川流域の高校生を対象とした企業見学ツアーを実施（時期：R7.10～R8.3 参加予定8校、参加者約510名）
- ・球磨川流域の市町村と東京ゲームショウに出展し、地域の魅力を発信（時期：R7.9.25～26、ブース来場者1,956名）
- ・サテライトオフィス等を活用した企業研修を誘致（時期：R7.11中旬 八代市1社、R7.12下旬 人吉・球磨地域1社）

<「食のみやこ熊本県」球磨焼酎の消費拡大>

- ・首都圏の百貨店等と連携した球磨焼酎フェアの実施
- ・蔵元から分離収集した有用微生物を活用した新商品開発支援

□ 庁内連携先： 教育庁（見学ツアー）

□ 実装化： 済

- ・ 県南地域企業誘致促進事業
31,000千円（R7年度当初予算）
- ・ 球磨焼酎リブランディング事業
42,000千円（R7年度当初予算）



職業体験研修

【課題や社会の変化等を踏まえた今後の方向性】

- 自ら課題解決に取り組もうとする意欲のある市町村や企業を支援することで、県南地域への企業誘致を促進していく。
- 『「食のみやこ熊本県」創造推進ビジョン』に基づき、球磨焼酎と食とを組み合わせた取組み等を展開することにより、球磨焼酎の認知度向上及び消費拡大を目指す。

球磨川流域のめざす姿

○県土の均衡ある発展につなげるため、県南地域へ企業誘致を促進するとともに、誘致企業等における人材確保や高校生等の地域内での就職率向上を図る。

【概要】

市町村と連携しながら、進出ニーズのある企業への視察費の助成や高校生を対象とした企業見学ツアーの実施、誘致企業の魅力創出・発信に向けた取組みを実施する。

【令和8年度以降の取組み】

- ・進出候補地等を視察する企業に対して、視察に要する費用の一部を助成。
- ・高校生を対象とした企業見学ツアーを実施。
- ・誘致企業の魅力創出・発信に向けた取組みを実施。 ※国庫：地域未来交付金活用（R7～R9年度）
（誘致企業が連携して取り組む人材確保への助成、高校生を対象とした職業体験研修の実施、東京ゲームショウにおける地域の魅力発信、サテライトオフィス等を活用した企業研修の誘致）

【事業名・予算】

県南地域企業誘致促進事業 25,600千円



企業見学ツアー

【ロードマップ】



球磨川流域のめざす姿

○令和7年7月に策定した『「食のみやこ熊本県」創造推進ビジョン』に基づき、本県の代表的な特産品である球磨焼酎と食とを組み合わせた取組み等を展開することにより、球磨焼酎の認知度向上及び消費拡大を目指す。

【概要】

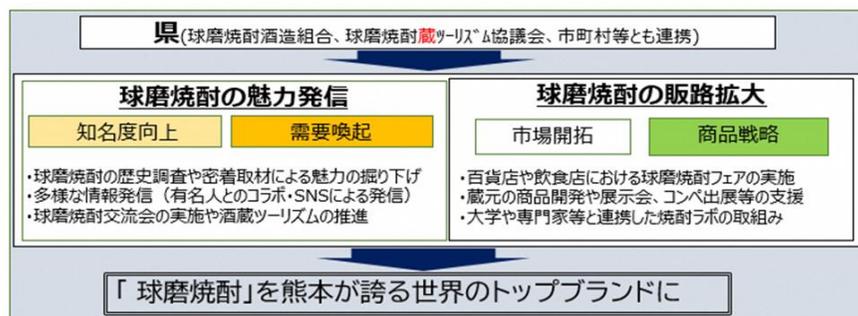
「食のみやこ熊本県」の創造を目指し、くまもとの食のイメージアップを図るため、球磨焼酎の県内外でのPRをはじめ、物価高騰の影響を受ける事業者支援として、蔵元が実施する商品開発や市場開拓を支援。

【令和8年度以降の取組み】

- ・球磨焼酎の熊本県内での需要喚起に向けたプロモーション・イベントの実施。
- ・都市圏の百貨店や飲食店等と連携した球磨焼酎イベントの実施。
- ・球磨焼酎蔵ツーリズム協議会等と連携した球磨焼酎をフックとしたインバウンド受け入れ。
- ・蔵元が行う商品開発や海外市場調査、国内外の展示会やコンペティション等への出展支援。

【事業名・予算】

「食のみやこ熊本」球磨焼酎消費拡大推進事業 35,000千円



【ロードマップ】



復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

第17回復旧・復興本部会議 [資料2] 14ページ

○ くまもと県南フードバレー構想ステージ2の展開

(※くまもと県南フードバレー構想…平成25年策定。県南地域の豊富な農林畜水産物を生かした高付加価値化や食関連企業の集積等による地域活性化を目指す取組み。)

【令和7年度の取組み（実績）】

- ・ 令和7年7月に策定した「食のみやこ熊本県」創造推進ビジョンにおいて、県南フードバレー構想の推進を重要項目として位置づけ、「ステージ2」として更なる取組みを展開。
- ・ 各種商談会への出展や県南フードグランプリの開催等による認知度向上・販路拡大、フードバレー経営塾による人材育成の強化等に取り組んだ。
- ・ 食関連企業2件の立地があった。
 - 新規1件（熟成食材の開発・製造・販売）
 - 増設1件（県南産米活用のグルテンフリー商品等の拡充等）※いずれも八代市

□ 庁内連携先：農林・商工・観光

□ 実装化：済（令和7年度予算）

・ 県南フードバレー構想推進事業

17,115千円

・ 地域未来モデル事業（農林水産分野）

124,273千円



【課題や社会の変化等を踏まえた今後の方向性】

- フードバレーの基盤となる地元での機運醸成を図るため、地元経済界との連携した消費拡大の取組みを強化。
- 熊本デスティネーションキャンペーン2026や、くま川鉄道全線開通等の機会を生かしながら、県南地域での食・農林畜水産業×観光による賑わい創出、高付加価値化に取り組む。

球磨川流域のめざす姿

- 「稼げる農林畜水産業」を目指す人・モノ・企業が溢れ、活力ある地域
- 球磨川流域の豊かな自然により育まれた食資源が体感できる地域

【令和8年度以降の取組み】

■ 県南経済界との連携

八代、水俣芦北、人吉球磨の各地域において食関連イベントを実施し、機運醸成や消費拡大を図る。

■ 観光との連携

県南地域の食関連の観光コンテンツ（観光農園や農家民泊等）の掘り起こしと磨き上げを行い、賑わいの創出・観光消費の拡大につなげる。

■ 企業の農業参入に係るトータル支援

食関連企業の農業参入に係るハード支援を強化し、参入と定着を促進する。
 （通常補助率1/2 → R8県南地域補助率2/3）

■ 人材育成・ネットワーク構築

より実践的なカリキュラムによる若手経営者育成セミナーを開催するとともに、受講生・卒業生の交流による新たなネットワークの構築を促進する。



【ロードマップ】



【事業名・予算】

- ・ 県南フードバレー構想推進事業 17,719千円
- ・ くまもと県南フードバレー農産物等高付加価値化緊急支援事業 190,500千円

復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

第17回復旧・復興本部会議 [資料2] 12ページ

豪雨災害以降、観光復興の中核的な役割を担ってきたアニメ「夏目友人帳」のブランド力の活用とともに、国内外で人気の高い「くまモン」をクロスオーバーさせた取組みを推進

■新たな集客スポットの形成 (ex. 夏目友人帳とくまモンをテーマにしたまちなみの形成)

■くまモン・夏目友人帳をフックとしたサービス開発

上記スポットへの誘客力、経済効果を高めるため、ご当地グルメや地域の歴史・文化等に根差した各種体験メニューを開発するとともに、受付ポイントを上記まちなみに集約することで誘客力・発信力を強化

【令和7年度の取組み（実績）】

令和8年夏の国内最大級の観光キャンペーン「熊本デスティネーションキャンペーン（DC）」に向けた全国宣伝販売促進会議でのPR、地域資源やアニメ等の観光コンテンツを活用した球磨川流域でのイベント実施など、人吉球磨地域への更なる誘客促進に取り組んだ。

■DCにおける取組み

・全国宣伝販売促進会議において人吉球磨地域への送客を依頼、人吉球磨地域を巡るエクスカーションツアーの実施

■アニメ「夏目友人帳」を活用した誘客・周遊促進の取組み

・モデル地を周遊する、ガイド付きタクシープランやAR（拡張現実）機能付きデジタルスタンプリーアプリ等を活用した誘客・周遊促進

・モデル地の一つである天狗橋の開通に合わせた開通記念イベントの実施

・旅行雑誌るるぶと連携し、人吉球磨地域を中心とした県内のアニメ「夏目友人帳」のモデル地や観光地等を全国に発信

・人吉球磨地域の事業者における「夏目友人帳」とコラボした地域限定オリジナルグッズ開発に向けた著作権元との調整

※民間事業者と連携した各種取組みについては、くまモンともコラボしながら実施

（くまモン×ニャンコ先生のコラボパネル設置、バスラッピング、オリジナルグッズ開発など）

□ 庁内連携先

：知事公室

□ 実装化 : 未定



▲表紙は球磨村の「松谷棚田」の風景

【課題や社会の変化等を踏まえた今後の方向性】

○2023年のアニメ15周年や2024年のアニメ第七期放映に合わせ、人吉球磨地域において夏目友人帳とコラボした周遊企画や声優を招いたイベントの実施、作品を紹介する企画展などを実施してきたことから、ファンの中では「夏目友人帳＝人吉・球磨」といったイメージを定着させることができた。

○一方でアニメ「夏目友人帳」のコンテンツを活用した事業の実施に当たっては著作権元の手承・監修を受ける必要があるため、使用範囲や方法等に制約があり、事業の実現にも時間を要する。引き続き、著作権元との継続的な関係構築を図りながら、事業の検討を進めていく。

球磨川流域のめざす姿

○アニメ「夏目友人帳」のブランド力や国内外で人気の高い「くまモン」を活用し、新たに集客スポットを形成し、ご当地グルメや地域の歴史文化等に根差した各種体験メニューを開発するとともに、受付ポイントをまちなみに集約するなどして誘客力・発信力の強化を図る。

【概要】

新たな集客スポットの形成の実現に向け、地元自治体や事業者等と場所の選定や実施方法等について検討しており、引き続き、著作権元など関係者との協議を進めていく。

また、本年開催のDCにおいては夏目友人帳を活用した人吉球磨地域への誘客を柱の一つとしており、観光文化部をあげてのプロモーション等を実施し、DCを契機とした更なる誘客周遊促進に取り組んでいく。

【令和8年度以降の取組み】

- ・『るるぶ夏目友人帳』に掲載された新たなモデル地等も活用し、周遊スポットを拡大することで、ファンの更なる誘客を図る。
- ・新たな集客スポットの形成に向け、アニメ「夏目友人帳」のモデル地のある自治体や事業者等と具体的な場所や実施方法等について引き続き検討を行う。
- ・域内の周遊促進を図るため、令和8年度上半期中に全線再開予定のくま川鉄道の沿線エリアを面的に繋いだ周遊プランの造成やモニターツアーなどを実施する。



【ロードマップ】

～R7年度	R8年度	R9年度	R10年度～
	くま川鉄道全線再開 熊本DC(7月～9月)		「夏目友人帳」 アニメ20周年
【集客スポット造成】			
●自治体及び事業者等との連携		●著作権元との協議	
【周辺施策】			
●地元事業者による夏目友人帳地域限定商品の開発支援（親地協事業）		●スポット造成（著作権元の協議・監修後）	
●くま川鉄道沿線における周遊プラン造成・モニターツアー実施支援			

【事業名・予算】

- ・「マンガ県くまもと」構想推進事業
17,226千円（うち一部）
- ・くま川鉄道沿線周遊促進緊急支援事業
35,000千円

復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

第17回復旧・復興本部会議 [資料2] 2ページ

- くまもと林業大学校県南校（五木村）の機能拡充の検討
- CO2削減に資するJ-クレジットの取得・販売促進に向けた支援の実施

【令和7年度の取組み（実績）】

- ・五木村と「くまもと林業大学校機能拡充連絡調整会議」を設置し、研修内容や校舎等について協議を実施するとともに、昨年度の「くまもと林業大学校機能拡充あり方検討委員会」の提言、連絡調整会議での協議、他県の林業大学校の視察等を踏まえ、機能拡充の指針となる「基本構想」を策定。
- ・適切に整備等がなされた森林のCO2吸収量等をクレジットとして認証する「J-クレジット制度」の取得・販売促進に向け、五木村（文京区との売買等に関する協定締結式を開催）を含む7市町村・団体等を支援。



林業大学校連絡調整会議



五木村における協定締結式

- 庁内連携先：教育庁高校教育課
- 実装化：済
 - ・くまもと林業大学校機能強化対策事業
5,000千円（令和8年度予算）
 - ・森林J-クレジット創出支援事業
13,125千円（令和7年度予算）

【課題や社会の変化等を踏まえた今後の方向性】

※太字・・・新たなスタートに向けた取組み・アイデア等関連

- 令和10年度の新たな林業大学校の運営開始を目指して、**「基本構想」（令和7年度末策定）を踏まえ学校運営体制やシラバス等についての検討を進めるとともに、施設整備等の実施や、入校生確保のためのPR活動を強化**
- J-クレジットの取得・販売促進に向け、7市町村・団体等を引き続き支援
- また、緑の流域治水の推進に向け、引き続き、流域保全総合治山事業により森林域からの土砂・流木の流出抑制対策を継続し、国土強靱化実施中期計画（R8～R12）に基づき治山施設を整備・強化するとともに、流域内の森林整備並びに林地保全に配慮した林業を推進

球磨川流域のめざす姿

※太字・・・新たなスタートに向けた取組み・アイデア等関連

- くまもと林業大学校について、県南校の機能拡充や県内林業関係高校との連携強化等を通じ、「選ばれる林業大学校」となるよう魅力向上を図り、次世代をリードする林業の担い手の確保・育成の拠点となるよう取り組む。
- 「Jークレジット制度」に基づくクレジットの取得・販売の支援を通じて、販売収入により森林整備を推進するとともに、クレジット購入企業等と球磨川流域の自治体等との交流促進等に繋げる。
- 山地災害箇所の復旧や予防対策により、山地に起因する災害から県民の生命・財産を保全するとともに、森林整備の推進や林地保全に配慮した施業が行われることにより、水源涵養機能をはじめとする森林の有する多面的機能の維持増進を目指す。

【概要】

令和10年度の新たな林業大学校の運営開始を目指して、県南校の機能拡充に向けた取組みを加速化させるとともに、引き続き、Jークレジットの取得・販売に対する支援、治山事業による山腹崩壊箇所等の計画的な復旧や予防対策、流域内の森林整備、林地保全に配慮した林業の普及を推進する。

【令和8年度以降の取組み】

- ・林業大学校の機能拡充に向けた研修内容の検討、施設整備の実施設計、入校生確保のためのPR活動の強化等
- ・林業大学校と林業関係高校等との連携強化に向けた林業就業への機運の醸成や林業大学校と林業関係高校等の相互の魅力向上

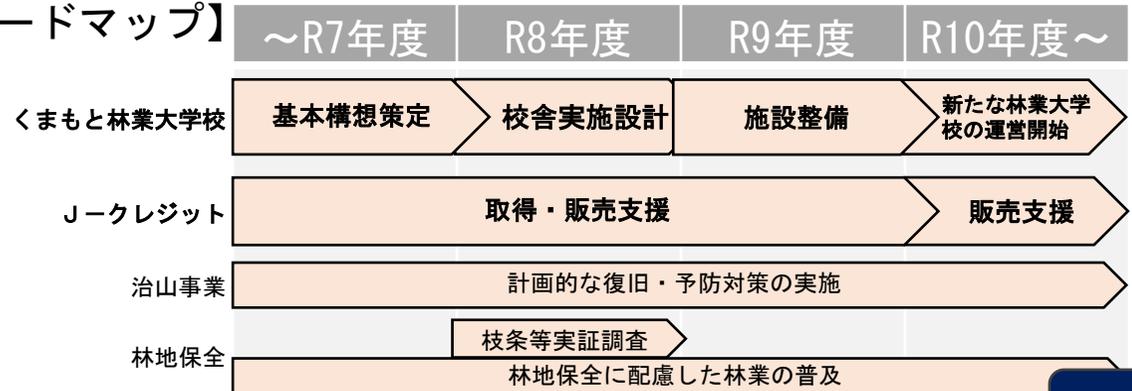


- ・Jークレジットの取得・販売支援
- ・治山事業の計画的な実施
- ・林地保全に配慮した林業の普及及び林地残材（枝条等）の活用に向けた検討

【事業名・予算】

・くまもと林業大学校人財づくり事業	186,522千円
・林大・高校連携強化推進事業	9,692千円
・森林Jークレジット創出支援事業	7,400千円
・治山事業（R2.7月豪雨関連）	896,660千円
・くまもとの県土を保全する林業推進事業	15,129千円

【ロードマップ】



復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

第17回復旧・復興本部会議 [資料2] 13ページ

○災害からの創造的復興（農業生産基盤整備）による新規作物の導入と田んぼダムの推進 【芦北東部地区】

- 庁内連携先：県南広域本部工務課
球磨地域振興局まちづくり工務課
- 実装化：済（令和7年度予算・経済対策含）
芦北東部地区 189,900千円

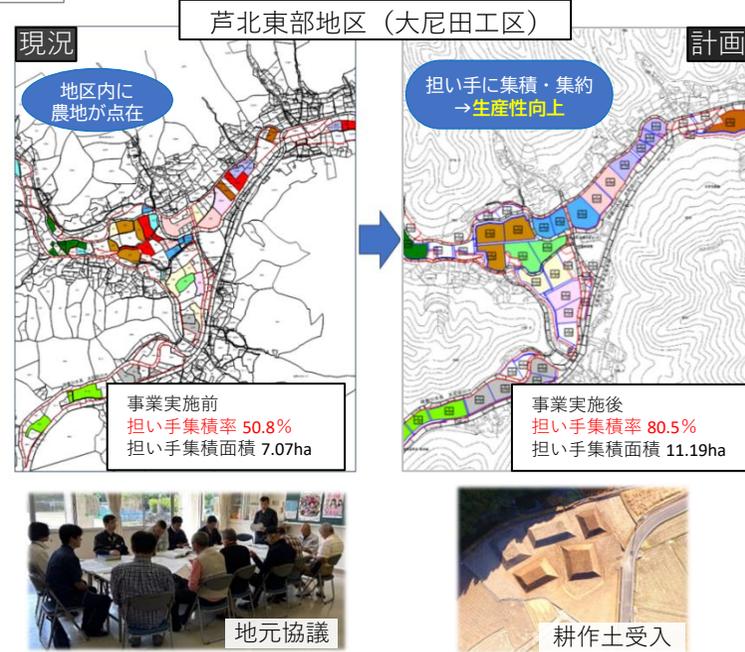
【令和7年度の取組み（実績）】

≪創造的復興（芦北東部地区）≫

- ・芦北東部地区では、災害復旧に合わせて生産性の向上や農家の所得増加を図るため、ほ場整備（32.3ha(3工区)）や担い手への農地集積（平均57.7%→80.0%）、新規作物（玉ねぎ、ばれいしょ等）の導入など創造的復興に取り組んでいる。
- ・令和7年度は、8年度工事着手に向けて区画拡大や鳥獣害対策・流域治水等を考慮した実施設計を実施。
- ・また、ほ場整備工事には河川氾濫等による耕作土の流出等により大量の土砂が必要になることから、国土交通省(相良村遊水地)や県土木部、企業立地課(八代工業団地)などと連携しながら、必要な耕作土を確保中。

≪田んぼダムの推進≫

- ・田んぼダムの普及拡大を推進しており、令和7年度末までに球磨管内710haの水田で取組み済。



【課題や社会の変化等を踏まえた今後の方向性】

※太字・・・新たなスタートに向けた取組み・アイデア等関連

○農地・農業用施設の全件復旧完了に向け、災害復旧工事を着実に推進

○単に被災前の状態に戻すのではなく、営農環境等の改善と防災機能の向上を目指し、**農業生産基盤整備による生産性向上と田んぼダムの取組みを推進**

球磨川流域のめざす姿

※太字・・・新たなスタートに向けた取組み・アイデア等関連

- 農地の区画拡大等により生産性向上を図り、地域農業の持続的発展に取り組む。
- 農地・農業用施設をフル活用した防災機能の向上により、安全・安心な農村生活環境の確保を目指す。

【概要】

災害復旧事業の早期完了を目指すとともに、土地改良事業の実施により農地の区画拡大や水田の汎用化を行い生産性を向上させ、稼げる農業を実現する。事業を契機に担い手を確保し、人口減少・高齢化の進む農村地域の活性化を図る。

また、田んぼダムや農業水利施設（農業用排水路等）を活用した事前放流の取組みを促進し、地域の防災機能を向上させ、安全・安心な生活環境を確保する。

【令和8年度以降の取組み】

- ・農地等災害復旧事業の推進による復旧完了及び土地改良事業の推進による創造的復興（芦北東部地区他）
- ・農業水利施設を活用した事前放流の取組みの促進及び田んぼダムの取組拡大による防災機能の向上

【事業名・予算】

- ・農地整備事業（中山間、生産基盤） 8, 389百万円の一部
- ・農業農村整備事業調査計画費 773百万円の一部
- ・団体営農地等災害復旧事業費 6, 240百万円の一部
- ・団体営農業農村整備事業 1, 493百万円の一部
- ・水利施設管理強化事業 156百万円の一部

【取組イメージ】

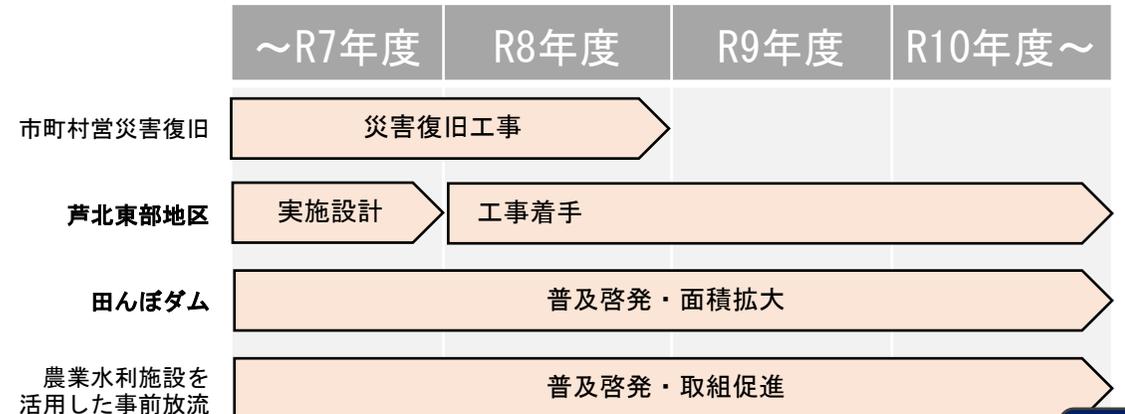
事前放流の取組み
(農業用排水路)



田んぼダムの啓発



【ロードマップ】



復興への歩みを加速させる道路・橋梁の復旧・整備と 球磨川流域の安全・安心を実現する緑の流域治水の推進

復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

第17回復旧・復興本部会議 [資料2] 3ページ

○土木部が担うインフラ整備は、地域住民の生活基盤を支えるものであり、復興への新たなスタートを切るためにも、引き続き、迅速かつ着実な復旧、地域の声に寄り添った緑の流域治水の推進に取り組む。

【令和7年度の取組み（実績）】

《道路・橋梁の復旧・整備》

- 流失した橋梁10橋については、昨年度までに完成した2橋（西瀬橋、沖鶴橋）に加え、天狗橋、松本橋、坂本橋の3橋が完成。
- 国道219号は八代市渡町～坂本橋間が完成（R8.2）。
- 安全・安心に繋がる国道219号の歩道整備や、地域の暮らしに欠かせない県道宮原五木線の改良等についても着実に進捗。

《緑の流域治水の推進》

- 球磨川水系河川の県管理区間では、豊かな自然環境に最大限配慮しながら命を守るための河川整備を進めるとともに、川遊びができる環境の確保など、人と河川のふれあい空間の創出を推進。
- 令和7年度は、梶原川（五木村）の堤防整備、中園川（球磨村）の宅地かさ上げ工事が完了。川辺川（相良村）の遊水機能を有する土地では周囲堤が完成。川辺川（五木村）では、河川プールなどの試験施工を実施。
- 流域全体の総合力で安全・安心を確保するため上流から中下流まで治山・砂防・河川事業が連携して進めている万江川土砂・洪水氾濫対策では、2地区で治山対策としての流木捕捉工の測量が完了。上中流域の土砂・流木の流出対策として設置する砂防堰堤については、3地区で測量設計が完了、1地区で用地買収及び工事に着手。下流域の氾濫対策として取り組む河川改修は、測量設計が完了。

【課題や社会の変化等を踏まえた今後の方向性】

- 暮らしや経済活動を支える基盤となる道路・橋梁の早期復旧を迅速かつ着実に進めるとともに、災害時はもとより産業振興等にも資する強靱で信頼性の高い道路ネットワークの構築に取り組む。
- 球磨川流域の安全・安心の実現に向け、地元説明会などで地域の意向を汲み取りながら緑の流域治水を計画的に推進する。



球磨川水系河川整備計画の進捗状況

	対象	事業着手
河川改修	13河川	8河川
宅地嵩上げ	6河川	6河川

球磨川流失10橋進捗状況

球磨川流失10橋の進捗状況については、下記の八代復興事務所ホームページを参照ください。



中園川（球磨村）宅地かさ上げ



復興への歩みを加速させる道路・橋梁の復旧・整備

～国道219号等の早期復旧と強靱で信頼性の高い道路ネットワークの構築～

球磨川流域のめざす姿

○日本一災害に強い、命の道・通学の道としての国道219号の強靱化や災害時のみならず観光振興や産業振興にも寄与する信頼性の高い道路ネットワークの構築を目指す。

【概要】

- 『国道219号等の道路復旧方針』に基づき、地域住民の生活を支える基盤となるとともに、復興へ向けた新たなスタートの土台となる国道219号等の迅速かつ着実な復旧・整備を、国・県・市町村が連携して実施。
- 道路ネットワークの強靱化・リダンダンシーの確保に向け、国道445号や県道宮原五木線等の整備を推進。

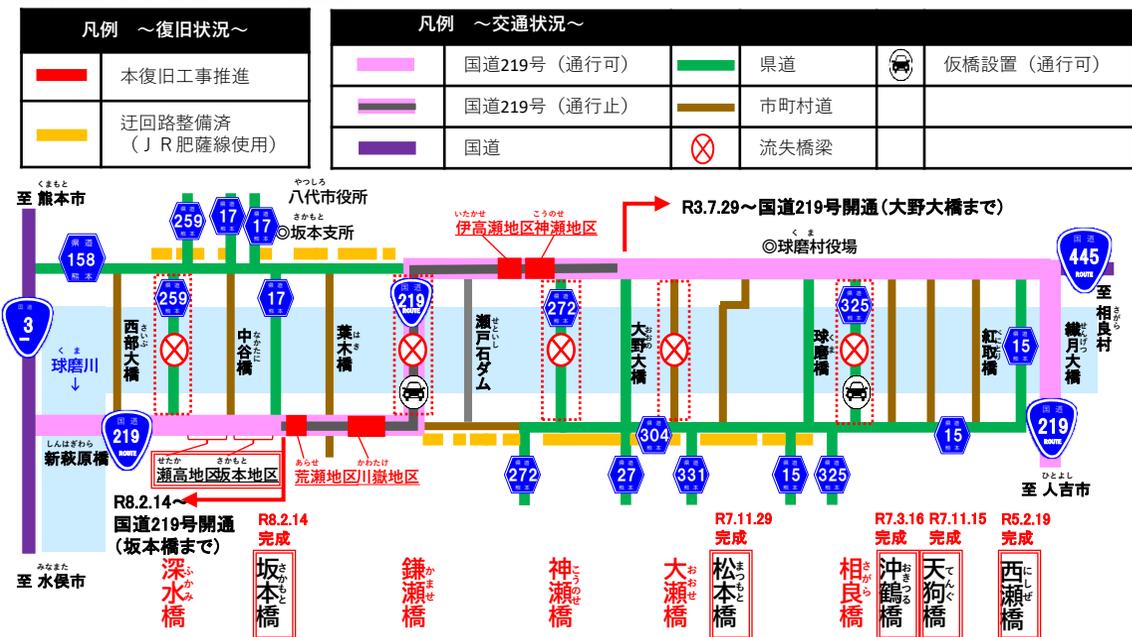
【令和8年度以降の取組み】

- 国道219号は、護岸復旧工事が概成した区間から順次嵩上げ工事を推進。
- 国道219号の対岸道路においては、迂回路整備や本復旧工事を推進。
- 橋梁（国による権限代行）については、残る5橋の上部工工事を推進。
- 国道445号や県道宮原五木線等において、道路改良工事や斜面对策等を実施。

【事業名・予算】（R8当初）

- 国道445号道路改良事業 143,000千円
- 県道宮原五木線道路改良事業 411,000千円 等

<国道219号等 復旧状況>



【ロードマップ】



球磨川流域の安全・安心を実現する緑の流域治水の推進

～球磨川水系河川整備計画等に基づく河川整備～

球磨川流域のめざす姿

○あらゆる関係者が協働し、自然環境との共生を図りながら流域全体の総合力で安全・安心を実現する「緑の流域治水」の考え方を踏まえた河川整備に取り組み、豊かな自然に囲まれた安全・安心な球磨川流域を目指す。

【概要】

○令和2年7月豪雨を契機に策定された球磨川水系河川整備計画や「“ひかり輝く”新たな五木村振興計画」及び「相良村復興計画」が目指す姿の実現に向け、河道の流下能力の向上に資する河道掘削や築堤の整備、洪水時の河川水位の低下に繋がる遊水機能を有する土地の確保・保全、家屋への浸水被害の軽減を図る宅地かさ上げ等に取り組む。

【令和8年度以降の取組み】

- 球磨川水系の8河川で河川改修、5河川で宅地かさ上げを実施。
- 令和8年度に田頭川の河川改修（堤防かさ上げ）、吉尾川、漆川内川の宅地かさ上げ工事が完成予定。
- 井口川では遊水機能を有する土地の整備推進、利活用の検討を実施。
- 川辺川（五木村）では、宮園地区で用地買収や補償協議を実施するとともに、工事に着手。梶原川の竹の川地区においても、宅地かさ上げの補償協議を実施し、工事に着手。
- 川辺川（相良村）では、平川地区で国道445号（四浦東地区）の道路改良（かさ上げ）と連携し、河川護岸工事を推進。永江地区では、用地測量に着手し、前田・境田地区では、用地買収に着手、工事を推進。黒石・下鶴地区では、遊水機能を有する土地について、村と利活用の検討及び利活用に向けた工事を実施。



【事業名・予算】（R8当初）

- 河川改修事業 800,000千円
- 単県河川改良事業 920,000千円 等

【ロードマップ】



球磨川流域の安全・安心を実現する緑の流域治水の推進

～万江川流域の土砂・洪水氾濫対策～

土木部

球磨川流域のめざす姿

○あらゆる関係者が協働し、自然環境との共生を図りながら流域全体の総合力で安全・安心を実現する「緑の流域治水」の考え方にに基づき、治山・砂防・河川事業を効果的に組み合わせ、流域全体で総合的な土砂・洪水氾濫対策に取り組む。

【概要】

○令和2年7月豪雨では、万江川流域内で土砂・洪水氾濫※が発生。今後の気候変動により激甚化する大規模な出水で再び土砂・洪水氾濫が発生する可能性が高く、流域住民の安全・安心を確保するため、「治山」「砂防」「河川」の3事業が連携し流域全体で土砂・洪水氾濫対策（都道府県としての取組みは全国初）に取り組む。

※土砂・洪水氾濫とは

豪雨により上流域から流出した土砂が下流の河道に堆積することで、河床上昇・河道閉塞が引き起こされ、土砂と泥水の氾濫が発生する現象。

【令和8年度以降の取組み】

- 治山（上流）：流木捕捉工の工事（川平地区、葛地区）
- 砂防（上中流）：砂防堰堤に係る設計、用地買収及び工事（屋形地区、合子俣地区、水無地区）
渓流保全工の用地買収及び工事（熊の原地区、尾寄崎地区）
- 河川（下流）：河川改修の詳細設計、用地測量

【事業名・予算】（R8当初）

- 治山：予防治山事業（交付金） ー 千円
- 砂防：大規模特定砂防等事業（補助） 200,000 千円
- 河川：防災・安全交付金事業（交付金） 10,000 千円

【対策イメージ】



「緑の流域治水」の考え方にに基づき、治山・砂防・河川事業を効果的に組み合わせ、流域全体で総合的な土砂・洪水氾濫対策計画を策定し実施する。

【ロードマップ】

～R7年度	R8年度	R9年度以降
○治山（森林保全課）・流木捕捉工（川平地区、葛地区） 測量、詳細設計		立木補償、工事
○砂防（砂防課） ・砂防堰堤（屋形地区） 詳細設計、用地買収、工事	用地買収、工事	
	・砂防堰堤（合子俣地区、水無地区） 測量、予備設計	詳細設計
	・渓流保全工（熊の原地区、尾寄崎地区） 測量、詳細設計	用地買収、工事
○河川（河川課）		
測量、予備設計	詳細設計、用地測量	用地買収、工事

復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

第17回復旧・復興本部会議 [資料2] 3ページ

〇ふるさとの魅力あふれるまちづくりとコミュニティの形成に取り組む。

【令和7年度の取組み（実績）】

《人吉市における復興まちづくり》

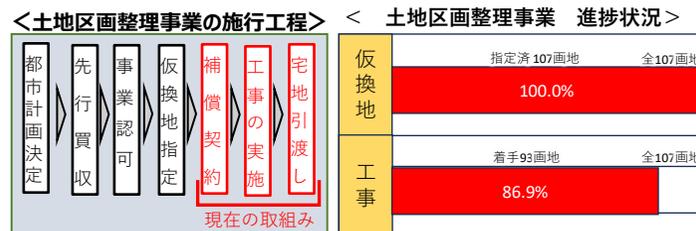
- 〇人吉市青井地区においては、土地区画整理と国道445号の道路拡幅の一体的な実施により、緊急輸送道路や避難路等の整備による防災性の向上及び良好な市街地形成等を図ることで、被災市街地の創造的復興を推進。全107画地のうち約9割で宅地造成工事に着手し、今年度中に約1割の権利者への引き渡しを予定。
- 〇中川原公園では、移動式トイレの設置完了により災害復旧事業完了。
- 〇人吉市施行の紺屋町土地区画整理事業は、区画道路約100mの工事に着手。今年度中に宅地造成3区画完了予定。

《公民館型「みんなの家」の整備（八代市、人吉市、球磨村）》 **完了**

- 〇被災した公民館に替わるコミュニティの場として整備を進めてきた公民館型「みんなの家」が、球磨村神瀬地区、中園地区で完成し、9棟全ての整備が完了。
- 〇整備にあたって実施した意見交換会やワークショップが住民間の交流のきっかけとなる等、地域コミュニティの再生が図られている。

《災害公営住宅の整備》（八代市、人吉市、球磨村、芦北町、相良村） **完了**

- 〇八代市坂本町松崎地区に災害公営住宅が完成し、入居開始（R8.1）。
- 〇災害公営住宅は5市町村12地区282戸全てが完成。防災備蓄倉庫や避難スペースの併設など、地域の防災機能が向上し、住民の安全・安心を確保。



【課題や社会の変化等を踏まえた今後の方向性】

- 〇球磨川流域の持続的な発展を図るため、防災機能が高く安心して住み続けられるまちづくりや地域資源を生かした魅力あるまちづくりに市町村や地域住民と連携して取り組む。

地域と共に進める復興まちづくり

～「人吉市復興まちづくり計画」に基づく取組み～

球磨川流域のめざす姿

- 「人吉市復興まちづくり計画」に掲げる「青井阿蘇神社を中心とした歴史文化・賑わいの形成」や「人吉市の中心地として賑わい・活力を形成」の実現を目指す。

【概要】

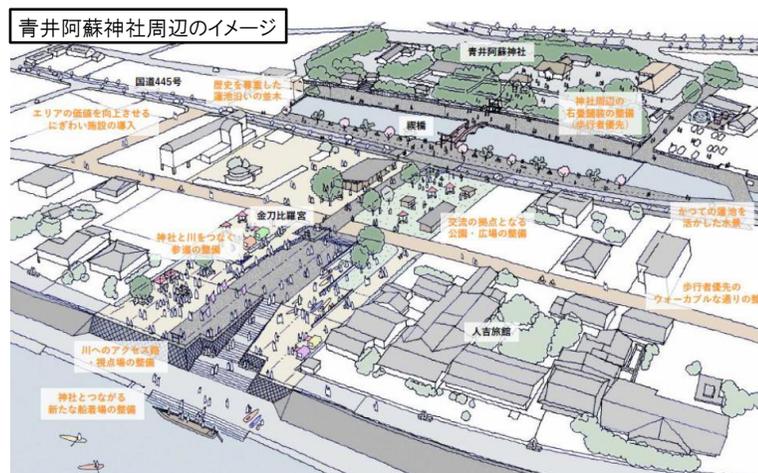
- 土地区画整理事業により避難路や一時避難場所となる公園等・区画道路の整備を行うことで防災機能の向上を図るとともに、未接道宅地や生活道路等の住環境の改善や、にぎわい創出のための拠点整備を行うことで、宅地の利用増進を図り、被災市街の復興を推進する。
- 復興計画に基づき、「国道445号の改良」及び「球磨川・人吉地区かわまちづくり」とも連携しながら、人吉市が行う「安心して住み続けられるまちづくり」を支援する。

【令和8年度以降の取組み】

- 青井被災市街地復興土地区画整理事業
 - ・宅地造成に係る建物の移転補償及び工事
- 国道445号改良事業
 - ・道路改良に係る用地補償及び工事
- 紺屋町被災市街地復興土地区画整理事業（市施行）
 - ・宅地造成に係る建物の移転補償及び工事

【事業名・予算】（R8当初）

- 青井被災市街地復興土地区画整理事業（交付金） 592,400 千円
- 国道445号道路改良事業（交付金） 648,000 千円
- 紺屋町被災市街地復興土地区画整理事業（交付金・市単費） 114,935 千円



【ロードマップ】

～R7年度	R8年度	R9年度以降
○青井区画整理（R10年度完了予定） 宅地造成、移転補償		
○国道445号改良（R13年度完了予定） 道路改良工事、移転補償		
○紺屋町区画整理（R10年度完了予定） 宅地造成、移転補償		

地域と共に進める復興まちづくり

～アートポリス事業を活用した「川辺川魅力創造事業」～

球磨川流域のめざす姿

○川辺川（相良村）を中心とした周辺環境・地域資源を活かした地域活性化や関係交流人口の増加を目指す。

【概要】

- 相良村では、川辺川の魅力を村内外に発信し、川辺川を中心とした周辺環境・地域資源を活かした地域活性化・関係交流人口の増加につなげるため、廻地区で県の河川整備と連携し、拠点施設の整備を推進。
- そのメインの建物となる交流拠点施設について、アートポリス事業で住民参加型の施設整備を支援。

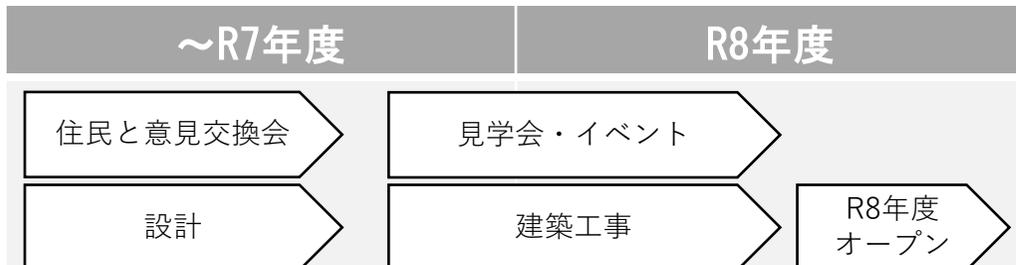
【令和8年度以降の取組み】

- 施工段階での現場見学会や完成見学会等のイベント実施。
- アートポリスのSNS（Facebook、Instagram、X）等を活用した情報発信。
- 設計者や施工者との協議時に村職員への技術的な支援・助言。

【事業名・予算】（R8当初）

- くまもとアートポリス推進費（単県） 9,525千円の一部

【ロードマップ】



相良村（廻地区）における川辺川を活かした拠点づくり



交流拠点施設（イメージ）



- 交流拠点施設
（交流スペース、多目的スペース、炊事場、事務所、シャワールーム、トイレ等）

復興を後押しする“球磨川流域の今”の発信

復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

第17回復旧・復興本部会議 [資料2] 3ページ

○復興への希望を示し、地域住民の安心した暮らしやそれぞれの未来への歩みを後押しできるよう、ハード・ソフト含めた復旧・復興状況の見える化の強化に取り組んではどうか。

【令和7年度取組み（実績）】

≪SNSを活用した情報発信≫

- 地域住民の皆さんや県民の皆さんはもとより、これまでに復旧・復興を支えていただいた全国各地の皆さんにも届くよう、SNSを活用して復旧・復興状況を発信。
- 土木部公式Instagramでは、令和7年11月から令和8年3月にかけて、道路や橋梁、災害公営住宅や公民館型みんなの家が相次いで完成することに合わせ、「シリーズ 令和2年7月豪雨からの復旧・復興」として集中的に発信。
- 創造的復興に資するアートポリスプロジェクト（公民館型みんなの家、相良村川辺川魅力創造事業など）においても、見学会や住民ワークショップ等のイベントを開催し、公式SNS（Instagram等）で発信。



【課題や社会の変化等を踏まえた今後の方向性】

- 復興に向けて歩みを進める球磨川流域の姿を発信し、復興を後押しする。

復興を後押しする“球磨川流域の今”の発信 ～SNSを活用した情報発信～

【令和8年度以降取組み】

- 引き続き、土木部公式Instagramやアートポリスの公式SNSを活用し、球磨川流域における公共土木施設等の復旧・復興状況やイベント開催情報等を発信する。

復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

第17回復旧・復興本部会議 [資料2] 15ページ

- 流量調査を継続し、令和8年度中の計画地点選定を目指す
- 発電所を学びの場・観光資源として活用し、地域振興に寄与
- 市町村・地域団体が取り組む小水力発電施設整備等への技術支援を継続

- 庁内連携先 : 企業局工務課
- 実装化 : 令和13年度以降

【令和7年度の取組み（実績）】

- ・候補地点における流量観測の継続
- ・発電所見学やカード等の配布を通じた活動を実施
- ・市町村・地域団体が取り組む小水力発電施設整備等への技術支援



流量調査の様子



発電所見学の様子

【課題や社会の変化等を踏まえた今後の方向性】

- 再生可能エネルギー導入拡大の社会的要請に対応し、地域資源を活かした小水力発電の可能性を追求
- 流域治水の観点から、砂防堰堤等の既存インフラを有効活用した発電方式の検討を深化

球磨川流域のめざす姿

- 自然と共生しながら、地域資源が最大限に活かされる持続可能な流域を実現する
- 自然の恵みを活かしたエネルギーが、地域振興・教育・観光へと循環し、流域の価値を高める社会を実現する

【概要】

- ・球磨川流域における新規小水力発電の可能性を把握するため、令和3年度から段階的に調査を実施
- ・これまでに抽出した候補地点について、流量調査を継続中
- ・調査結果を踏まえ、令和8年度末に計画地点を選定予定

【令和8年度以降の取組み】

- ・開発候補地の選定（令和8年度）
- ・事業化に向けた技術的・経済的検証、今後の工程の具体的な検討及び関係機関との協議等を実施（令和9年度）
- ・計画地点の基本設計・測量等の準備に着手（令和10年度～）

【ロードマップ】

～R7年度

- ・流量調査の継続
- ・調査結果とりまとめ



R8年度

- ・流量データ解析
- ・候補地点の比較評価
- ・開発候補地の選定



R9年度

- ・事業化に向けた詳細検討



R10年度～

- ・計画地点の基本設計
- ・測量等の準備



復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

第17回復旧・復興本部会議 [資料2] 16ページ

- 県立高校の魅力化の推進
- キャリア教育の充実
- 遠隔授業のさらなる充実
- 緑の流域治水に向けた取組みの推進

【令和7年度の取組み（実績）】

○県立高校の魅力化の推進

- ・南稜高校におけるあさぎり町と連携した地域との協働体制（コンソーシアム）構築に向け、あさぎり町が実施するコーディネーター導入等を支援。あさぎり町、南稜高校、コーディネーター等で協議を行い、コンソーシアムのビジョンや組織体制を検討

○キャリア教育の充実

- ・球磨工業高校、南稜高校、球磨中央高校に「くまもとキャリアサポーター」を配置するとともに、インターンシップや企業見学、企業講話、企業技術者による授業・実習等を実施し、高校生が県内企業を知る機会をこれまで以上に創出
- ・義務教育段階において、キャリア教育に係る研修会を実施

○遠隔授業のさらなる充実

- ・球磨中央高校において、第一高校や小国高校、牛深高校と連携した遠隔授業を実施

○緑の流域治水に向けた取組みの推進

- ・南稜高校において、「森林の保水力」や「雨庭」、「田んぼダム」等の流域治水の学びを取り入れた教育を実践
- ・新たに球磨工業高校において、勉強会のうえ「雨庭」を施工するなど、流域治水の学びを取り入れた教育を実践

□ 庁内連携先： 商工労働部（キャリア教育）
企画振興部（緑の流域治水）

□ 実装化： 済（令和7年度予算）

- ・地域と一緒に！キラリと光る県立高校魅力づくり事業 24,000千円の一部
- ・高校生キャリアサポート事業 95,075千円の一部
- ・熊本版COREハイスクール・ネットワーク事業 7,369千円の一部



小国高校との遠隔授業の様子（球磨中央高校）

【課題や社会の変化等を踏まえた今後の方向性】

- 少子化に伴う学校の小規模化が進行することが想定される中、生徒の多様な進路実現に向けた教育・支援を可能とする高等学校教育を実現するとともに、学校と地域がビジョンを共有し、継続的に連携・協働できる体制を構築する。
- 地元企業の存在や魅力、仕事の内容を知らないことや県内の人手不足解消という課題がさらに深刻化しており、地域産業界と一体となったキャリア教育の推進・生徒が県内企業を知る機会の創出等の県内就職率の向上につながる取組みを推進する。

球磨川流域のめざす姿

○若者が魅力感じる学びの場の創出

○学校と地元企業が連携したキャリア教育の推進

【概要】

- 生徒の多様な進路実現に向けた教育・支援を可能とする高等学校教育を実現するとともに、学校と地域がビジョンを共有し、継続的に連携・協働できる体制を構築する
- 地域産業界と一体となったキャリア教育の推進・生徒が県内企業を知る機会の創出等の県内就職率の向上を図る

【令和8年度以降の取組み】

○県立高校の魅力化の推進

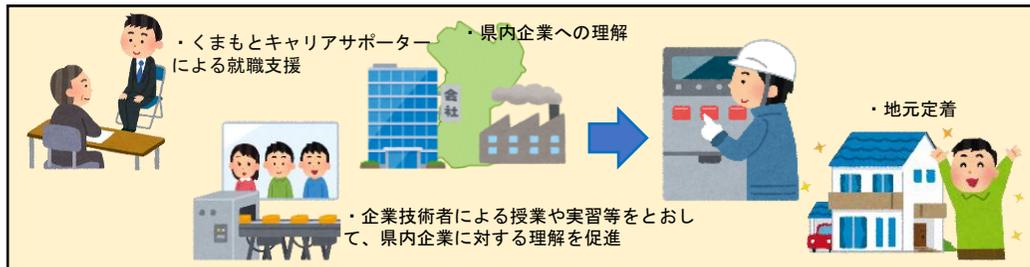
- ・あさぎり町が南稜高校を対象に実施するコンソーシアム構築に係る取組（コーディネーター導入等）の継続支援
- ・地域振興局と連携した「地域における県立高校のあり方を考える協議会」の開催
- ・球磨中央高校における遠隔授業の更なる充実を図るため、熊本版COREハイスクール・ネットワーク事業における配信科目、受信科目の拡大を新たに検討

○キャリア教育の充実

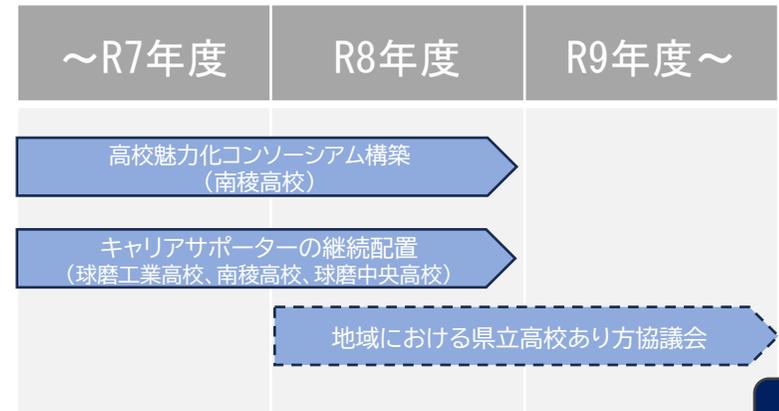
- ・就職支援やキャリア教育のコーディネート等を行う「くまもとキャリアサポーター」の継続配置
- ・企業見学や企業講話、企業技術者による授業や実習等をとおして、県内企業に対する理解を促進。知事部局と連携し、県内定着につなげる
- ・くまもと地域未来共創ハイスクール事業（新規）において、熊本県版マイスター・ハイスクール事業（地域の産学官金と一体となって人材を育成する取組）を基軸とし、社会に開かれたキャリア教育を推進
- ・義務教育段階において、キャリア教育に係る研修会を実施

【事業名・予算】

- ・地域と一緒に！キラリと光る県立高校魅力づくり事業 23,875千円の一部
- ・地域における県立高校あり方協議会 1,402千円の一部
- ・高校生キャリアサポート事業 97,467千円の一部
- ・くまもと地域未来共創ハイスクール事業 37,284千円の一部



【ロードマップ】



復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

第17回復旧・復興本部会議 [資料2] 4ページ

地域住民にとって最も身近な警察施設である駐在所の機能を最大限発揮し、

- ・ 巡回連絡による地域住民への防犯情報等の提供及び意見要望の聴取
- ・ 管轄区域の治安情勢等に応じたパトロール活動
- ・ 駐在所連絡協議会による地域住民の意見要望の把握と協議

等を推進し、地域住民の生命・財産を守り安全・安心を確保する。

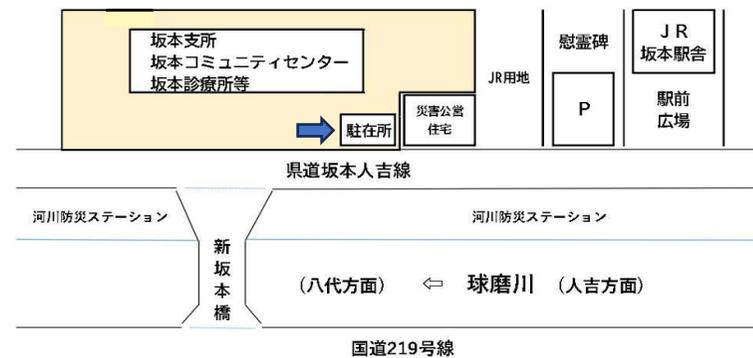
【令和7年度の取組み（実績）】

- ・ 令和7年7月、坂本町駐在所連絡協議会を開催し、今後の駐在所の運用方針の説明、地域住民の要望意見の聴取を実施
- ・ 同年8月、坂本駐在所の新築工事に着工
- ・ 隣接する八代警察署川岳駐在所を拠点に、坂本駐在所管内の巡回連絡やパトロール活動等を継続して実施
- ・ 令和8年3月上旬 新築工事完了
- ・ 同年3月30日、新「坂本駐在所」の運用開始

令和7年度予算
警察施設災害復旧費 71,574千円



坂本支所周辺図



「坂本支所だより」R8.1.27発行第245号から引用

【課題や社会の変化等を踏まえた今後の方向性】

引き続き、地域に密着し、地域住民と共に地域の安全・安心の創出に向けた警察活動を推進

復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

第17回復旧・復興本部会議 [資料2] 17ページ

- 坂本地区の地域の特性を生かした食文化や魅力を活かした復興マルシェやイベントを実施し、被災店舗の復興支援及び賑わいづくりとなる取組を地元と一体になって進める。
- 若者の地元定着や外部人材の呼込等を支援する就職フェア、移住定住の促進に取り組む。

【令和7年度の取組み（実績）】

- ・復興が進む八代地域へ足を運んでもらうきっかけを作るため、八代市坂本地区の被災店舗を含む9事業者が出展する復興物産展を熊本市内で開催(R8.2.21)。復興が進む今の坂本地区等の姿を紹介したパネル展等を併せて実施。
- ・昨年度好評を博した県南15市町村の食、伝統芸能等を一堂に集めた「うまかもんフェスタ」を八代市内で開催(R7.12.7)。県南フードバレー推進協議会会員の出店のほか復興祈念として坂本地区の被災店舗の出店や肥薩線応援団体による肥薩線ミニSLの運行等による坂本地区の復興PRやJR肥薩線再開の機運醸成を図った(来場者数：約4,400人)。
- ・県補助金「くまもと未来づくりスタートアップ事業」を活用し、JR肥薩線存続へ向けて活動する地域づくり団体のフォーラム開催や絵本作成等の取組みを支援。
- ・八代地域における若者の地元定着及び人材確保に向け、UIターンへの関心が高い若年層を対象とした企業見学ツアー・合同就職面談会を実施(参加企業数43社、参加人数87名)
- ・球磨川・八代地区かわまちづくり協議会において、令和7年2月に策定された「球磨川・坂本地区かわまちづくりアクションプラン」の実施状況を確認するとともに、令和8年度以降に着手する事業の実施主体を確認。
- ・令和9年7月に予定される「道の駅坂本」の再建に向け、県において屋外トイレ及び駐車場の整備計画を策定。



↑物産展・パネル展の様子



↑坂本町より「鮎やな」が出店



↑肥薩線応援団体によるミニSLの運行



←肥薩線応援団体が製作した絵本の表紙



↑企業見学ツアー ↑就職面談会

【課題や社会の変化等を踏まえた今後の方向性】

- 令和8年2月に、坂本支所が再建され周辺の拠点性が向上するとともに、国道219号（八代市渡町～坂本橋）と坂本橋の復旧により交通利便性が大幅に向上。また、坂本PAスマートインターチェンジ（仮称）が「準備段階調査」箇所を選定され、将来的に遠方からの誘客が期待される。
- これらを最大限に利用して、坂本支所周辺が新たな賑わいの拠点となるような観光振興に取り組み、交流人口の拡大を目指す。

球磨川流域のめざす姿

- 地域の人々が安心・安全に暮らすことができ、賑わいあふれる地域。
- 住民の地元定着と、新たな人材を呼び込むことで、持続可能な地域づくりを行う。

【令和8年度以降の取組み】

- ・ 坂本地域での復興マルシェやイベントの開催等を通じて、当該地域の復興や、国道219号と坂本橋の復旧完了による交通アクセスの向上をPRし、坂本地域への誘客による交流人口の拡大や被災店舗の再興支援を推進する。
- ・ 八代地域での就職面談会や高校生向け企業紹介フェアの開催等を通じて、若者の地元定着や雇用、移住定住の促進に引き続き取り組む。
- ・ 球磨川・八代地区かわまちづくり協議会と連携して、水辺空間を活かしたアクティビティの実現や鮎やなの設置等「球磨川・坂本地区かわまちづくりアクションプラン」の実現に向けて取り組む。
- ・ JR肥薩線復興アクションプランの重点施策である球磨川ビュースポットの整備や観光列車の導入等について、関係市町、団体と連携して推進する。
- ・ 観光・交流の拠点となる「道の駅坂本」の整備を引き続き推進する。

※整備主体

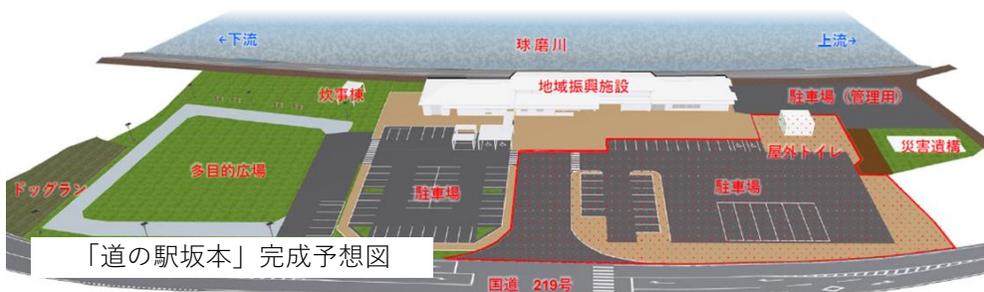
- ・ かさ上げ（国）
- ・ 建物、多目的広場、駐車場整備（八代市）
- ・ 屋外トイレ、駐車場整備（県）



↑復興マルシェのイメージ（R5八代市役所で開催した坂本復興イベントの様子）

【ロードマップ】

～R7年度	R8年度	R9年度	R10年度～
R8年2月 八代市坂本支所 開所	坂本支所周辺での 復興イベントの開催	R9年7月（予定） 道の駅坂本 共用開始	道の駅坂本の賑わいづくりに 向けたイベント・観光ツアーへの 売り込みの検討等



「道の駅坂本」完成予想図

復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

第17回復旧・復興本部会議 [資料2] 18ページ

<社会インフラ関係>

吉尾川において郷土愛を育む地域住民参加型の治水対策と多自然川づくりを実施

<農林水産関係>

農業経営の安定化を図る水田裏作での加工用バレイショの生産及びリレー出荷等

<商工関係>

労働力不足の解消・雇用機会の創出を図る人材確保支援プラットフォームの構築
地域の主体的なアイデアを事業化する未来創造ネットワークの構築

	庁内 連絡先	実装 化	事業名・予算
社会 インフラ	河川課	済	吉尾川単県自然債河川改良事業 (R7:15,000千円)
農林水産	農産園芸課	済	くまもと露地野菜シェア拡大支援 事業(R7:197千円)
商工関係	地域振興課	済	水俣・芦北地域雇用創造協議会 事業ほか

【令和7年度の取組み実績】

<社会インフラ関係>

吉尾川河川改良事業において地域住民等とのワークショップの実施
地域の意見を反映した模型の作成、詳細設計に着手

<農林水産関係>

水俣市と芦北町の2法人における加工用バレイショの安定生産に向けた取組への技術支援

<商工関係>

人材確保支援プラットフォーム構築に向けて、スキマバイトサービス「タイミー」との
連携協定により当管内での同サービスの活用開始
未来創造ネットワーク構築に向けて、未来を担う若手経営者等の意見交換の場となる地
域未来交流会を開催

吉尾川ワークショップの様子、作成された模型



加工用バレイショ収穫支援



地域未来交流会の開催



【課題や社会の変化等を踏まえた今後の方向性】

<社会インフラ関係>

地域の声を反映した地元で愛される河川整備、地域と連携した維持管理

<農林水産関係>

加工用バレイショの収量確保に向けた栽培技術向上と機械導入の支援

<商工関係>

様々なサービスを活用し外国人も含めた人材確保
地域の未来を担う人材による地域振興の主体的な取組み

農業者向けタイミー説明、農業求職者向けマニュアルの一部



球磨川流域のめざす姿

<社会インフラ関係>

災害に強く、産業・観光の振興を後押しし、地域に愛される社会インフラの実現

<農林水産・商工関係>

豊かな海、山、清流に恵まれた地域資源や先人の取組みを活かした、稼げる安定した農林水産業・商工業の実現

<社会インフラ関係>

吉尾川河川改進黨業を地域住民参加型により推進し「休耕田の活用による河川拡幅」と「多自然川づくり」を実施

【令和8年度以降の取組み】

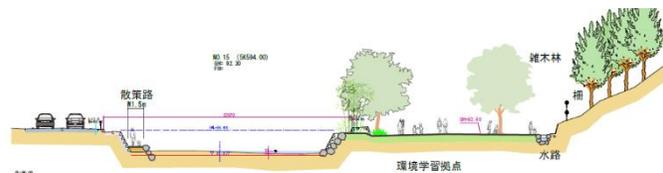
- ・ 工事中も地域住民との意見交換を実施し必要に応じ対応
- ・ 地元住民による維持管理など川への関与を働きかけ

【事業名】

吉尾川単県自然債河川改進黨業

【ロードマップ】

～R7年度	R8年度	R9年度～
ワークショップ 基本設計 用地買収	詳細設計 工事着手	護岸工事



<農林水産関係>

水田裏作における加工用バレイショの生産及び、平坦部から山間部へのリレー出荷を推進

【令和8年度以降の取組み】

- ・ 加工用バレイショの現地栽培支援
- ・ 栽培基準の作成
- ・ 水田裏作の新たな産地づくり支援

【事業名】

くまもと露地野菜シェア拡大支援事業

【ロードマップ】

～R7年度	R8～9年度	R10年度～
現地栽培支援機 械導入支援	現地栽培支援 機械導入支援 栽培基準作成	芦北東部地区等 への導入支援



<商工関係>

- ・ 国の支援制度や民間サービスを組合せた人材確保プラットフォームを構築
- ・ 地域の主体的アイデアの事業化

【令和8年度以降の取組み】

- ・ 情報集約サイトの構築運営、人材確保セミナー、マッチング・定着支援
- ・ 地域未来交流会の開催及び事業化支援

【事業名】

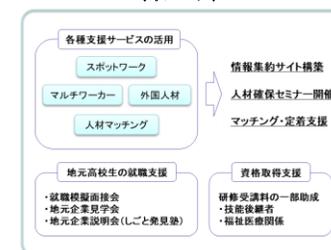
水俣・芦北地域雇用創造協議会事業

【ロードマップ】

～R7年度	R8年度	R9年度～
タイミー協定 交流会開催	タイミー活用支援 交流会開催	プラットフォーム 構築 交流会開催

人材確保支援プラットフォーム
(イメージ)

水俣・芦北地域未来創造ネットワーク
(イメージ)



復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

第17回復旧・復興本部会議 [資料2] 19ページ

人吉球磨管内は、**最多10市町村が存在し、財政基盤の脆弱な小規模自治体が多い**。本管内では、令和2年7豪雨災害からの創造的復興として、JR肥薩線復興アクションプランや、令和8年度のくま川鉄道の全線開通、球磨川リバーミュージアム構想の推進、日本遺産への認定更新など、**国や県の様々な重要な施策がそれぞれ展開**されていることから、これらの**施策を有機的に連携させ、広域的に効率的かつ着実に進めていくことが必要**。当局では、総務振興課に職員2名を増員するとともに、県版地域おこし協力隊(5名)を採用し、市町村に加え、観地協やドットリバーなどの**中間支援組織と連携**しつつ、地域課題の解決に取り組む。これにより、**大規模災害後の新たな復興支援スキームの構築**を目指す。**県庁本課の事業を活用・連携しつつ、主体的に事業を展開**

【令和7年度の取組み(実績)】

1 事業の承継や成長に向けた人材の確保 庁内連携先:教育委員会、商工労働部、企画振興部

- 実態把握のため、管内4つの公立高校に対して聞き取りによる実態調査を実施(R7.4~5)
- 拡** 企業立地課と連携し、高校生を対象とした職場体験(R7.7~8)や企業訪問バスツアーを実施(R7.12~R8.3)
- 地元企業を中心とした合同企業説明会を開催(R8.3.18、地元企業44社) ※**農業未来プロジェクトの実施(RCF)**
- 新** 「ひとくま暮らしナビ」の構築(地域に住むことのメリット(住まい、地域・企業情報(スポーツ情報等)、観光等)も発信



【農業承継バスツアー】

2 地域経済の維持・発展に向けた事業承継の推進 庁内連携先:商工労働部 ※**事業承継 成約件数 10件(R6~)**

- 新** 会議所、商工会及び管内市町村等と連携し、事業承継に係る実態調査等を実施 把握可能な分のみで
- 新** 事業承継セミナー(R7.8~9)、新規就農・経営継承現地視察バスツアー(R7.10)、熊本県事業承継マッチングイベント(R8.2)等の開催

3 人吉球磨地域の再生・発展に向けた観光振興 庁内連携先:観光文化部、企画振興部、農林水産部

- 新** 令和8年のDC開催に先立ち、プレキャンペーンの展開(R7.7~8)やエクスカージョンの開催(R7.8)等
- 新** くま川鉄道全線運行再開関連イベント実行委員会の設立支援(R8.1)
- 新** 地域おこし協力隊を中心としたインバウンド促進の取組み
※高雄市訪問(R7.10)、台北国際旅行博(R7.11) 365, 302人(会場全体)、台北国際酒展(R7.11)、台湾旅行商談会(R8.1)
- 新** 大阪駅観光プロモーション(R7.11)、くまモンファン感謝祭(R8.2) ふたご座流星群観測会(R7.12)※雨天中止
- 新** 星のイベント開催:冬の星座観測会(R8.1) 43人、台湾星空保護区視察(R8.1)、球磨村星空観測会(R8.3)
- 新** 九州「シン農泊」Jinあさぎり<合宿型交流会>の開催協力(R7.10)
- 新** くま川鉄道全線再開を念頭に、レール&フットパスの実施【協賛】(R8.3)

4 雇用の場の確保に向けた企業誘致活動の展開 庁内連携先:観光文化部、企画振興部、農林水産部

- 新** 企業研修受入れ(R7.12) 1社受入れ ※**台湾の半導体大手企業立地の効果が波及**
- 新** 東京ゲームショウ出展(R7.9) ビジネス来場者 107, 131人 195名と名刺交換
- 新** 半導体化関連企業の工場が立地(R8.2、人吉市) (あさぎりクエストが好評)

人吉球磨地域における半導体関連企業は？

人吉球磨地域には、ルネサスエレクトロニクス錦工場(錦町)、宮本電機(多良木町)、伸和コントロールズ熊本工場(山江村)、山下機工(人吉市)、共栄精密人吉工場(人吉市)などが立地し、600人超を雇用。今年2月には、半導体製造装置の一部を製造する**テクノワールド人吉工場(人吉市)**が落成するなど、台湾の半導体大手企業の立地の波及効果が発現しつつある



【令和7年度の取組み（実績）】

5 移住定住の推進等(人吉球磨版の「地域の人事部」) 庁内連携先:企画振興部、商工労働部

- 「ひとくま暮らしナビ」の構築(地域に住むことのメリット(住まい、地域・企業情報(スポーツ情報等)、観光等)も発信(R8.3)【再掲】
- 「地域の人事部」ワークショップの開催(R8.1(市町村向け)、R8.2(企業向け)の計2回)
- 移住定住相談会への出席 第1回 R7.10 21人来場(うち3人の相談に対応)
第2回 R7.12 30人来場(うち3人の相談に対応)
第3回 R8.2 49人来場(うち4人の相談に対応)
- 妖怪まつりでの移住アンケート調査@人吉(R7.11) 72人が回答
- UIJターンオンラインセミナー 第1回(R7.11)7人 第2回(R8.1)9人
- 人吉球磨地域おこし協力隊交流会の開催
第1回(R7.12)15人、第2回(R8.2)19人(OB・OGを含む) ※木村知事もご参加



【第2回地域おこし協力隊交流会】

6 日本遺産への認定更新への支援 庁内連携先:観光文化部、教育庁

- 人吉球磨伝承の宴に開催(R7.10) 29人
- 日本遺産サイクリングinひとよし球磨2026の開催(R8.3)

7 その他の広域的な取組み 庁内連携先:総務部

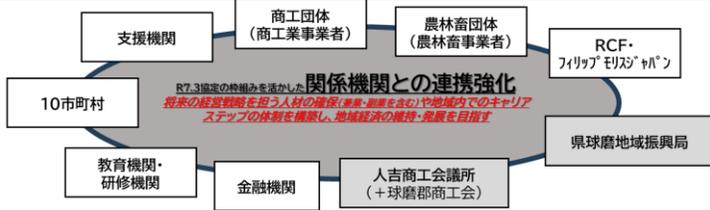
- ふるさと納税の新たな返礼品の創設や市町村における水平補完や垂直補完できる業務の可能性を探るため、管内市町村へのヒアリングを実施(R7.6~)
- ふるさと納税について、市町村担当者連携会議の中で、これまでの市町村の取組みや抱えている課題について情報共有・意見交換(R7.7)
- 市町村職員採用試験への共同採用方式の導入を検討するため、管内の市町村長との意見交換(R7.11~R8.1)を行うとともに、総務担当課長会議(R8.1)において同方式を提案

人吉球磨版の「地域の人事部」プラットフォーム(情報の一元化・UIJへの積極的な情報発信)

企業の求人情報や移住定住等の情報は、行政及び民間レベルでも数多くのサイト等が存在。しかし、それらは情報量が膨大であり、画一的な形式であるため、人吉球磨地域の情報が埋もれている。また、地域ならではのマイナーな情報もなく、個性が十分に出不されているのが実態である。管内企業からは、人材確保のニーズが高く、企業情報等を発信したいという意見も多いが、小規模事業者が多く、人的、予算的にも自社単独で実施することが困難

そのため、今度の取組みを検討している「地域の人事部」(予算が獲得できれば)も念頭に、以下に関する情報を発信するためのプラットフォームを作成し、関係機関と連携しながら、地域おこし協力隊を中心に情報を収集、掲載する考え(委託先は、管内で移住定住に取り組んでいる一社)ドットリバーを想定)

※本プラットフォームは、高校の卒業式や成人式等で、Instagramやラインなどを活用し、積極的に情報を発信し、UIJターンにつなげる



【課題や社会の変化等を踏まえた今後の方向性】

- 人口減少は全国的な課題だが、当地域は令和2年7月豪雨災害以降、人口減少が加速化し、県内平均を大きく上回る減少率となっている。特に、高校生の県内就職率は県内ワースト1であり、人手不足が深刻化
- 県全体としては、インバウンドの増加により、観光客数は増加しているが、本地域では令和2年7月豪雨前の水準まで回復していない。管内には有用な観光コンテンツが多数存在するが、広域的な情報発信や取組みが十分ではない

球磨川流域のめざす姿

- 球磨地域振興局の組織体制の強化を図り、地域おこし協力隊も活用しながら、今後の地域の維持・発展に資する中間支援組織である、観光振興を担う(一社)人吉球磨観光地域づくり協議会や移住定住・人材確保を担う(一社)ドットリバー(会議所等と一体)を中心に、関係団体と連携し、人材確保や広域観光の取組みを加速化させる

1 事業の承継や成長に向けた人材の確保 庁内連携先:企画振興部、商工労働部

- 新** 商工団体、市町村、金融機関、中間支援組織の連携による「地域の人事部」機能の構築(管内企業の人材確保(兼業・副業を含む)や地域内のキャリアアップステップ)の体制を構築
- 拡** 地域おこし協力隊による、「ひとくま暮らしナビ」を活用した、地域PRの強化、移住希望者と管内企業とのマッチング、UIJ希望者への情報発信の強化(高校卒業者へのSNS登録等)
- 拡** 高校生を対象とした職場体験や企業訪問バスツアー、合同企業説明会の開催、管内企業と高校(担当教員)の連携強化

2 地域経済の維持・発展に向けた事業承継の推進 庁内連携先:商工労働部

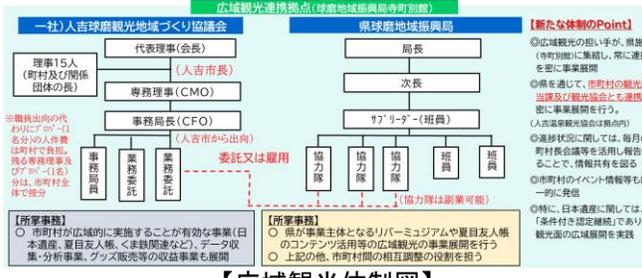
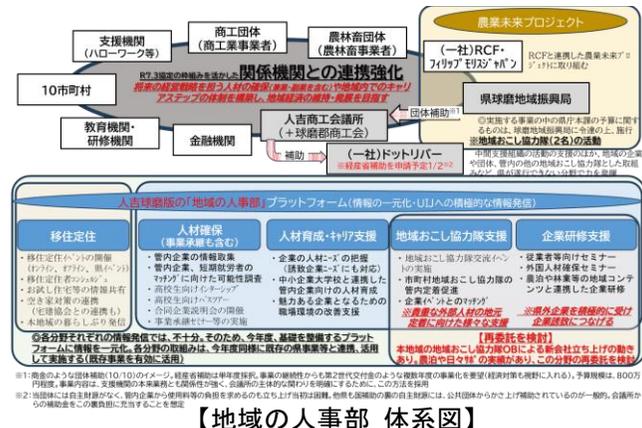
- 会議所、商工会及び管内市町村等と連携し、事業承継・創業希望者の掘り起こし・事業承継のマッチング支援
- 創業希望者・事業承継希望者を対象としたセミナー等の開催

3 人吉球磨地域の再生・発展に向けた観光振興 庁内連携先:観光文化部、企画振興部、農林水産部

- 拡** 熊本DC・くま川鉄道全線再開を機会とした観光客の誘客・地域PRの強化
- 新** 阿蘇・芦北・球磨の3地域の連携によるレール&フットパスの実施、日本遺産の活用
- 新** 球磨川リバーミュージアムの推進(観光コンテンツ等としての磨き上げ等)
- 拡** 地域おこし協力隊による新たな観光コンテンツの企画立案、既存コンテンツの組み合わせによる観光地としての魅力向上
- 拡** 夏目友人帳を活用した商品販売・観光誘客策の検討と実現
※球磨焼酎蔵元自身が取り組む米づくりを通じたテロワールの付与に向けた支援等
- 新** 「食のみやこ」・「県南フードバレー」を実現するため、その実働組織としてのコンソーシアムの立上げと農林地区水産物の高付加価値化※、新商品の開発、販路拡大等の取組みを実施
- 新** くま川鉄道沿線の観光資源の発掘・選定・整理、周遊プランのミニツアー等の実施

4 雇用の場の確保に向けた企業誘致活動の展開 庁内連携先:観光文化部、企画振興部、農林水産部

- 東京ゲームショウへの出展や、民泊等を活用した企業研修の受入れ体制の構築と実現による企業誘致活動の強化
- 機会を捉え、既存の関係企業へのトップセールス等の実施
- 記立地企業に対する市町村と連携した支援により新たな増資、雇用の促進



5 移住定住の推進等(人吉球磨版の「地域の人事部」) 庁内連携先:企画振興部、商工労働部

- 地域おこし協力隊による、「ひとくま暮らしナビ」を活用した、地域PRの強化、移住希望者と管内企業との橋渡しの実施(人吉・球磨地域未来創造人材づくり事業、「地域の人事部」構築事業)【再掲】
- 人吉球磨地域おこし協力隊交流会の開催
- UIJターニメントの積極的な参画

6 日本遺産への認定更新への支援 庁内連携先:観光文化部

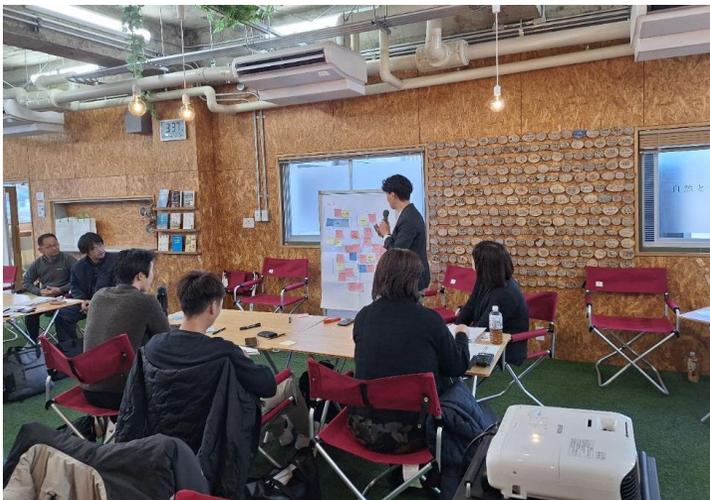
- 管内市町村、関係団体との連携の強化及び組織体制の強化
- 日本遺産認定に係る中間検査への対応
- 日本遺産の情報発信に係る整理及び強化

7 その他の広域的な取組み 庁内連携先:知事公室、企画振興部、総務部

- ふるさと納税共通返礼品の実現に向けた市町村による取組みを促進
- 市町村職員採用試験への共同採用方式の導入に係る具体的な協議の実施
- 魅力ある学校づくり(地域における県立高校の在り方等)の推進
- 地域公共交通の維持・確保に向けた取組みの支援(人吉球磨地域公共交通の更新等)
- 職員の任地居住割合の低さ、市町村数の多さ、脆弱な社会基盤(道路)等を踏まえ、事前待機等を含めた実効性のある防災体制の検討、構築



【ひとくま暮らしナビ】



【第2回地域の人事部ワークショップ】

【ロードマップ】

～R7年度	R8年度	R9年度	R10年度～
プラットフォームの構築、地域の人事部ワークショップの実施	地域の人事部を中核とした人材確保・育成との体制構築		
くま川鉄道的全線再開・くまもとDCも念頭にいた広域観光体制の構築			
広域課題の対応に向けた県(振興局)・管内市町村間の情報共有・連携等			
球磨川リバーミュージアム構想の推進(観光コンテンツとしての磨き上げ等)			

- これまでの取組みにより、被災インフラの復旧や住まいの再建等、復旧は着実に進んでいる。
 県管理河川施設の災害復旧：99%以上完了（令和8年度完了見込み）
 災害公営住宅の整備完了：全12地区282戸
 八代市坂本支所周辺整備完了 等
- 今後「緑の流域治水」の安全・安心の大きな柱となる新たな流水型ダム事業も本格化。
- この成果を今後の復興に繋げ、創造的復興を加速する。

【これまでの復旧の5年の成果】を【今後の復興】へ

河川施設の復旧

	進捗率 (R8.3末見込み)	完了見込
県管理河川施設	99.2% 391/394箇所完了	R8年度中

くま川鉄道・JR肥薩線の復旧

	進捗	完了見込
くま川鉄道	全線運行再開	R8.9.20
JR肥薩線	復興アクションプランによる取組推進中	R15年度

道路・橋梁の復旧

	進捗率 (R8.3末見込み)	完了見込
国道219号	八代市渡町～坂本橋開通 (R8.2.14)	早期完了に向けて推進
県南地域道路	98.9% 928/938箇所完了	
橋梁	50% 5/10橋完成	



国道219号、坂本橋 (R8.2.14完成)

天狗橋 (R7.11.15完成)



農林水産基盤の復旧

	進捗率 (R8.3末見込み)	完了見込
農地・農業用施設	96.6% 825/854箇所完了	R10年度末
林道	81.9% 385/470箇所完了	

すまい・なりわいの再建

	進捗率 (R8.3末見込み)	完了見込
応急仮設住宅等入居者数	99.5% 1,806/1,814世帯完了	最後のお一人まで寄り添った支援を継続
災害公営住宅整備	100% 全12地区282戸完了	R7年度完了
なりわい再建支援補助金による施設・設備の復旧	98.4% 完了504件/交付決定512件	全ての再建が完了するまで支援を継続

地域の医療体制確保

八代市坂本町	診療所開設 (R8.3.3診療開始)
球磨村	持続可能な医療体制確保に向けた支援を実施



八代市立坂本診療所

魅力あふれるまちづくり

八代市坂本町	坂本支所を中心とした一体的整備完了 (R8.2.14)
人吉市青井地区	国道445号と区画整理を一体的に実施
相良村廻地区	川辺川の魅力を活かした交流拠点づくり
球磨村渡地区	渡小跡地を活用した賑わいづくり

「緑の流域治水」の推進

新たな流水型ダム事業

R9年度のダム本体基礎掘削工事着手、R17年度の完成を目標に整備を推進。



河川整備事業

球磨川水系河川整備計画に基づく河川整備等を実施。

- ・田頭川：河川改修工事
- ・川辺川・山田川・万江川等：河川改修に伴う測量設計、用地補償等を実施



田頭川河川整備状況 (あさぎ町)



川辺川整備イメージ (五木村)

治山事業

流域保全総合治山事業により、球磨南部、五木、五家荘の3地区で、森林域からの土砂・流木の流出抑制対策を実施



谷止工の整備 (五木村)

「緑の流域治水」の周知・広報

流域小中高校での出前授業やテレビ・SNS等による広報を実施。



- 「令和2年7月豪雨からの新時代共創復興プラン」に掲げる「産業の活性化」と「人材確保」が好循環を生み出すよう、球磨川流域における動きが本格化。
- 本庁・出先機関が地域と連携して取組みを実施し、球磨川流域復興局は地域連携の仕組みづくりを行う。
- 豪雨災害後、特に厳しい状況におかれている人吉・球磨地域では、球磨地域振興局の機能を強化し、人吉球磨地域おこし協力隊とともに地域と連携し、創造的復興を進めていく。

